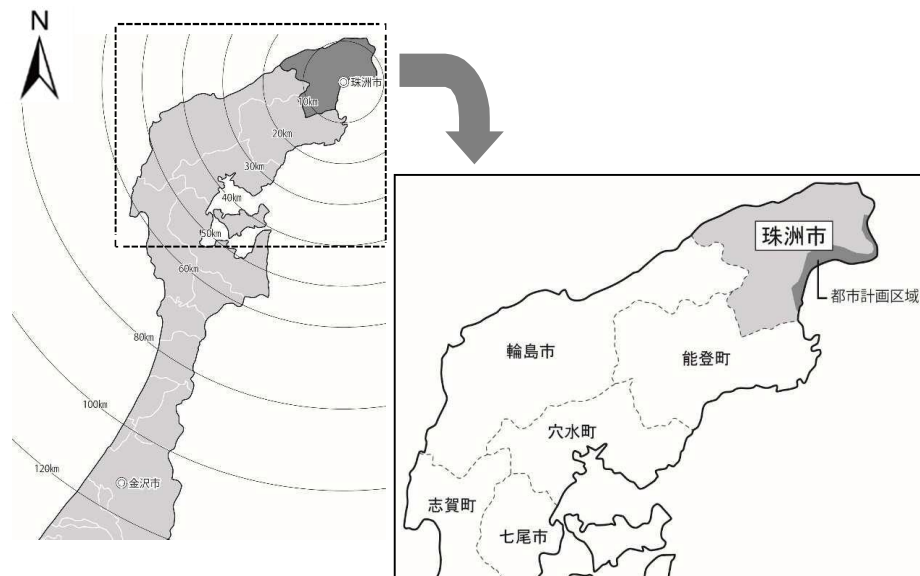


(1) 珠洲市の位置・地勢

- ・日本海に突き出た能登半島の先端部に位置。西部を除き三方を日本海に囲まれる。
- ・市の南西から北東に宝立山、鞍坪岳、山伏山が連なり、外浦と内浦に大別される。
- ・行政区域面積247.20 k m²のうち、内浦海岸部の29.8 k m²が都市計画区域である。



(2) 気候

- ・年平均気温14.6度、年間降水量2,600mm（気象庁：2024年気象データ）で、比較的暖かく冬季に降水量が多い典型的な日本海型気候。

春	高気圧が移動性となって低気圧と交互に日本付近を通過するようになり、天気の変り変わりが周期的となる。
夏	6月中旬に梅雨入りし、7月下旬まで梅雨空が続き、特に梅雨末期には、豪雨に見舞われ大きな被害を引き起こすことがある。やがて、安定した夏型の晴天が続くようになる。
秋	9月に入ると、比較的天気の良い日が多く、また、台風が日本に上陸するようになり、大きな被害をもたらすことがある。10月に入ると、秋晴れの日が増えてくる。
冬	大陸からの優勢な高気圧が吹き出す強い北西の季節風が日本海上空を通過する際に水蒸気を補給し、県内全域に雨や雪を降らせる。また、冬の雷は日本で一番多い。

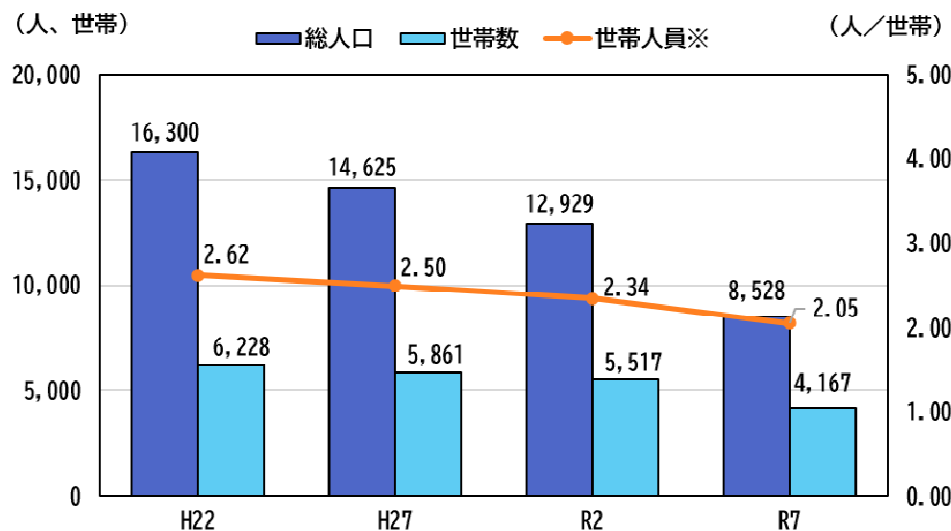
(3)人口・世帯（被災前）

- ・ 2025(令和7)年の珠洲市の人口は8,528人、世帯数は4,167世帯であり、減少傾向が続いている。
- ・ 高齢化率は増加傾向で、2020(令和2)年には51.7%（県平均：30.0%）となっている※。

人口	世帯数	平均世帯人員	高齢化率
8,528人	4,167世帯	2.05人	51.7%

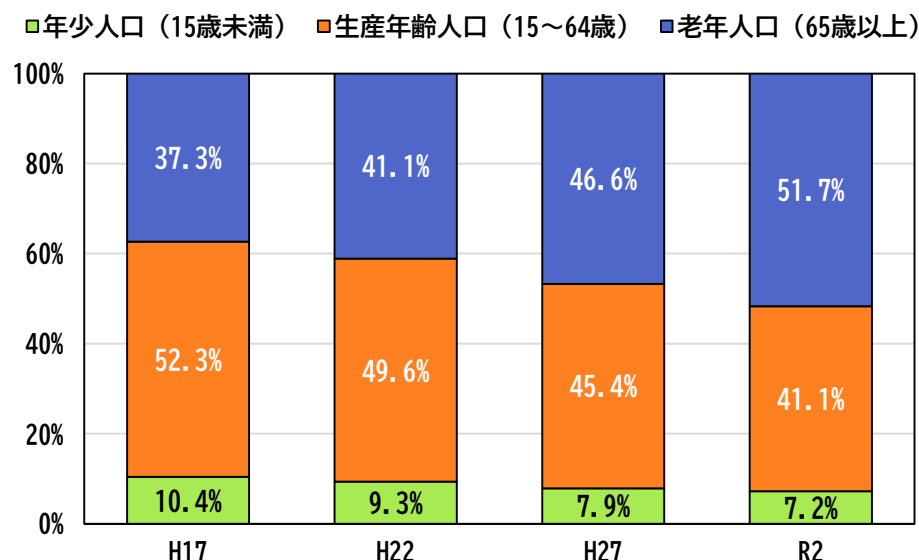
※年齢不詳を除いて算出

<人口・世帯数の推移>



※世帯人員は総人口を世帯数で除して算出

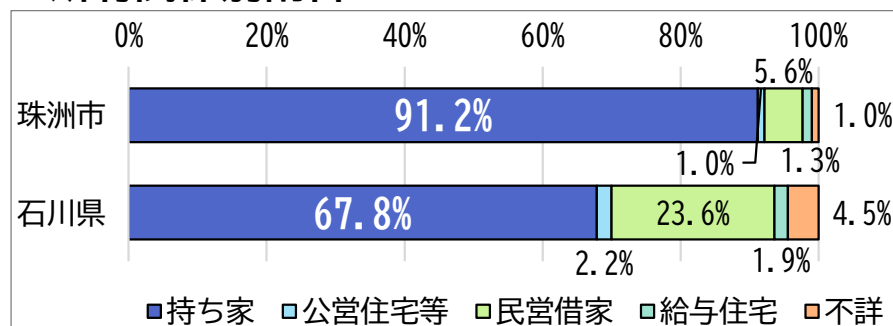
<年齢階級別人口割合の推移>



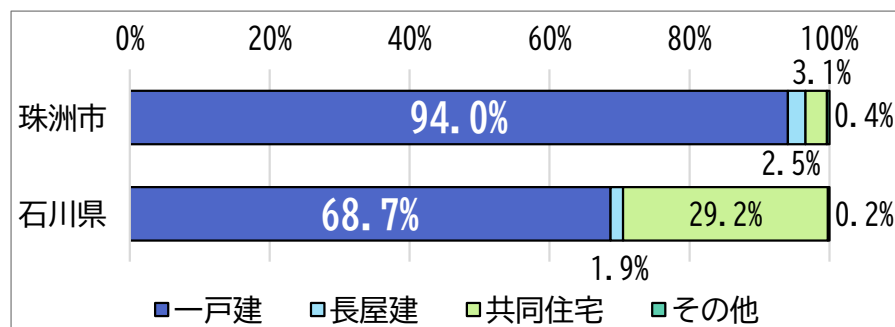
出典：2023（令和5）年統計ず、2020（令和2）年、2025（令和7）年国勢調査/石川県

(4)住宅ストック

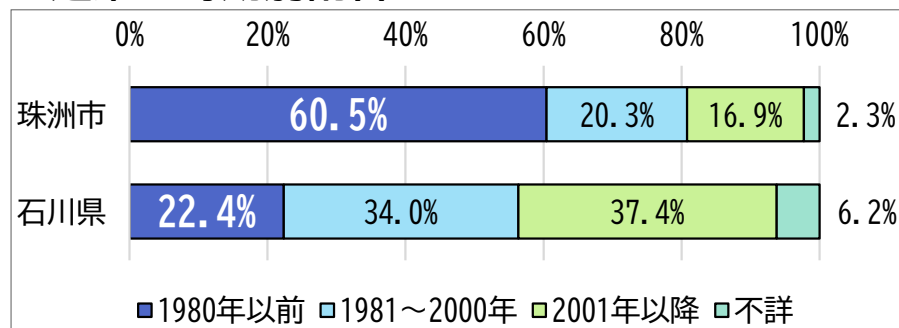
<所有関係別割合>



<建て方別割合>



<建築の時期別割合>



- ・ 持ち家率は91.2%（県平均：67.8%）、専用住宅の一住宅当たりの延べ面積は190.55㎡（県平均：120.31㎡）となっている。
- ・ また、空き家率は24.5%（県平均：15.6%）となっている。
- ・ 建て方別にみると、一戸建てが94.0%（県平均：68.7%）となっている。
- ・ 1980年以前が60.5%（県平均：22.4%）となっている。

(5)公営住宅等の整備状況

- ・ 珠洲市内の公営住宅等は、市営住宅 4 団地19棟132戸※、県営住宅 1 団地 2 棟32戸である。
- ・ 2022（令和4）年度調査では、市営住宅に入居している117世帯のうち、高齢者が居住する世帯は43 世帯（36.8%）、高齢単身世帯は28 世帯（23.9%）となっており、2017（平成29）年度調査と比べて、高齢者が入居する世帯や高齢単身世帯が増加している。

公営住宅等 管理戸数		団地数		棟数		戸数	
	県営住宅	1		2		32	
	市営住宅	4		19		132	
	合計	5		21		164	
市営住宅の 建設年代 ／構造別戸数		1969 年以前	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	合計
	木造	—	10	—	10	—	20
	耐火	—	—	80	16	16	112
	合計	—	10	80	26	16	132

※特定公共賃貸住宅 3 戸、市が管理・運営する単独住宅80戸を含む

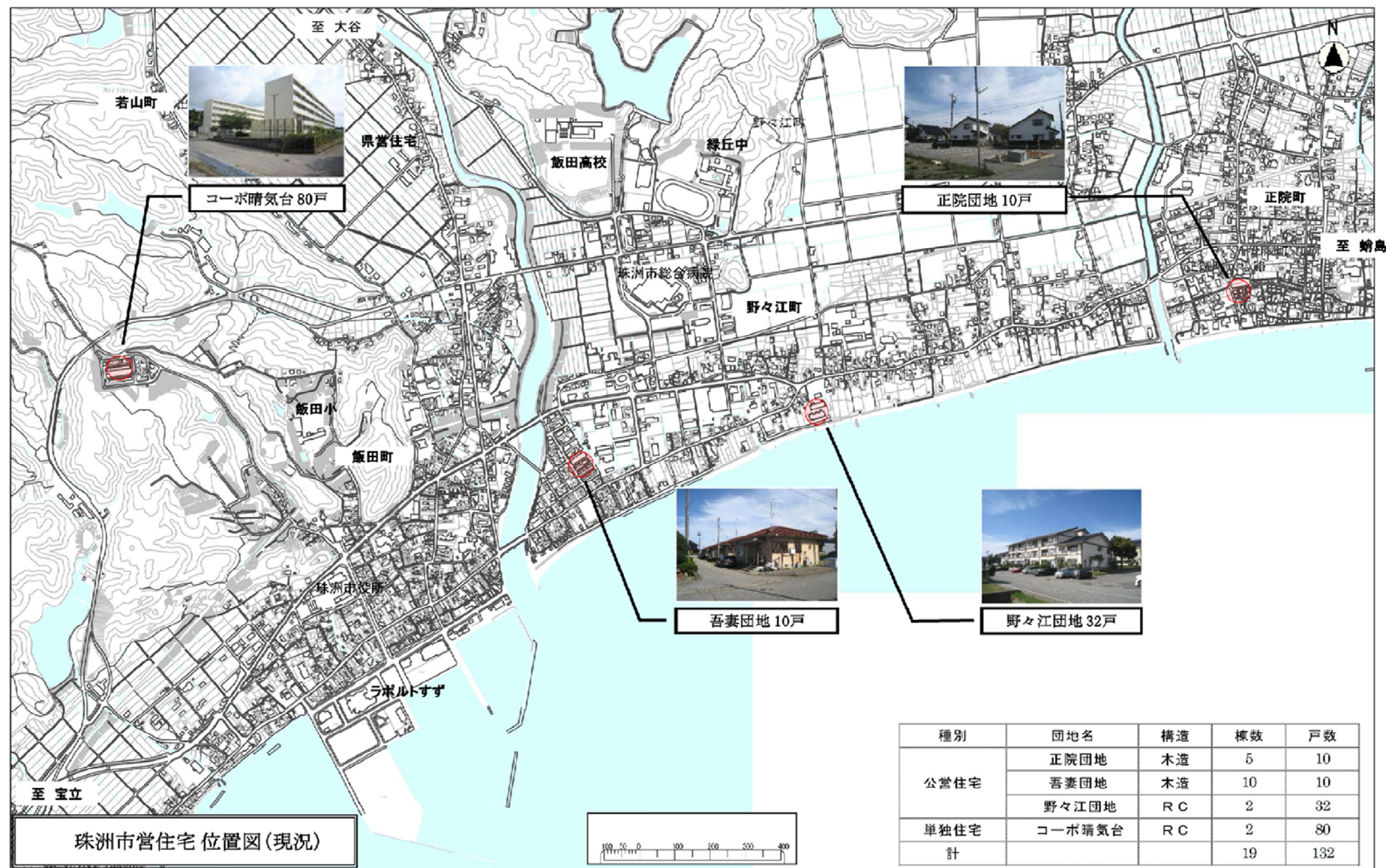
出典：珠洲市公営住宅等長寿命化計画（2022（令和4）年10月）

<公営住宅等一覧>

珠洲市が管理する公営住宅等							
団地名	棟番号	竣工年度	区分	タイプ	構造	階数	管理戸数
正院団地	1～6号棟	平成5（1993）年	公営住宅	3LDK	木造	2	3
				2LDK		1	2
	7～10号棟	平成6（1994）年	公営住宅	3LDK		2	3
				2LDK		1	2
吾妻団地	1～10号棟	昭和54（1979）年	公営住宅	3DK	木造	1	10
野々江団地	1号棟	平成2（1990）年	公営住宅	2DK	RC造（耐火造）	2	2
				3DK			2
				2DK	RC造（耐火造）	3	4
				3DK			8
	2号棟	平成12（2000）年	公営住宅	2LDK	RC造（耐火造）	2	4
				1LDK	RC造（耐火造）	3	9
			特定公共賃貸住宅	1LDK		3	2
				2LDK		1	1
コーポ晴気台	1号棟	昭和56（1981）年	単独住宅	3DK	RC造（耐火造）	5	40
	2号棟		単独住宅	3DK	RC造（耐火造）	5	40
合計							132

石川県が管理する公営住宅等							
団地名	棟番号	竣工年度	区分	タイプ	構造	階数	管理戸数
若山団地	1号棟	昭和50（1975）年	公営住宅	3DK	RC造（耐火造）	4	16
	2号棟	昭和51（1976）年	公営住宅	3DK	RC造（耐火造）	4	16
合計							32

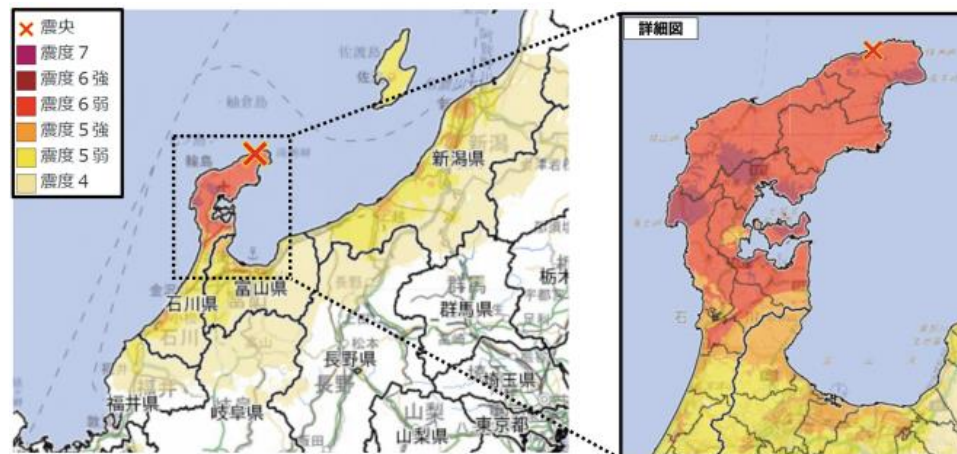
<市営住宅位置図>



(1)令和6年能登半島地震による被災状況

- ・2024（令和6）年1月1日、珠洲市内を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生。志賀町及び輪島市で最大震度7、珠洲市では最大震度6強の揺れを観測した。
- ・この地震により、珠洲市では最大4.7m※の津波の浸水高を観測するなど、能登半島の広い地域で津波による浸水が認められた。

※京都大防災研究所の現地調査による



出典：石川県創造的復興プラン（2024（令和6）年6月）

<能登半島地震による人的被害の状況（単位：人）>

死者	うち 災害関連死	行方 不明者	負傷者		計
			重症	軽傷	
194	97	0	50	202	446

出典：石川県HP「被害等の状況について（第229報）」（2026（令和8）年5月29日）



(2)住家被害

<能登半島地震による住家被害の状況（単位：棟）>

全壊	半壊	一部破損	計
1,757	2,115	1,749	5,621

出典：石川県HP「被害等の状況について（第229報）」（2026（令和8）年5月29日）



出典：
国土交通省 国土技術政策総合研究所・国立研究開発法人 建築研究所
「令和6年能登半島地震による木造建築物の被害調査報告（速報）」

<地区単位の被災状況 (2024(令和6)年9月時点)>

10地区	主世帯数	高齢化率	住家数	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない	無被害	半壊以上合計及び割合
宝立地区	818	58.8%	901	417	49	73	145	101	99	17	76% 684
上戸地区	538	43.7%	480	55	22	37	102	126	121	17	45% 216
飯田地区	558	43.5%	512	87	16	50	121	108	122	8	54% 274
若山地区	673	52.8%	632	148	47	55	140	130	110	2	62% 390
直地区	438	37.5%	397	105	22	19	86	72	92	1	58% 232
正院地区	537	51.8%	566	323	41	41	66	46	45	4	83% 471
蛸島地区	478	50.0%	495	223	58	39	89	45	39	2	83% 409
三崎地区	766	56.1%	823	225	82	92	171	122	118	13	69% 570
日置地区	187	62.9%	219	55	8	23	41	45	45	2	58% 127
大谷地区	412	60.5%	477	99	34	50	112	88	86	8	62% 295
総計	5,405	51.6%	5,502	1,737	379	479	1,073	883	877	74	67% 3,668

出典:国土交通省・珠州市調査

(地震+水害の被害状況を整理、建物の被災状況は罹災証明・被災証明データの両方をあわせもつ)

(3)令和6年能登半島地震に係る応急対応の状況(2026(令和8)年5月時点)

- ・建設型応急住宅は1,740戸(46団地)が整備されている。
- ・また、賃貸型応急住宅:569世帯、県内公営住宅:21世帯、県外公営住宅:22世帯が入居しており、自主避難は34世帯となっている。

<地区別の建設戸数(2026(令和8)年5月時点)>

地区名	団地数	建設タイプ	建設戸数	
宝立	2	プレハブ	196	346
	2	木造	150	
上戸	2	プレハブ	63	80
	1	木造	9	
	1	トレーラー	8	
飯田	4	プレハブ	49	115
	1	木造	66	
直	4	プレハブ	64	125
	1	木造	22	
	3	トレーラー	39	
正院	2	プレハブ	75	170
	1	木造	19	
	1	トレーラー	76	

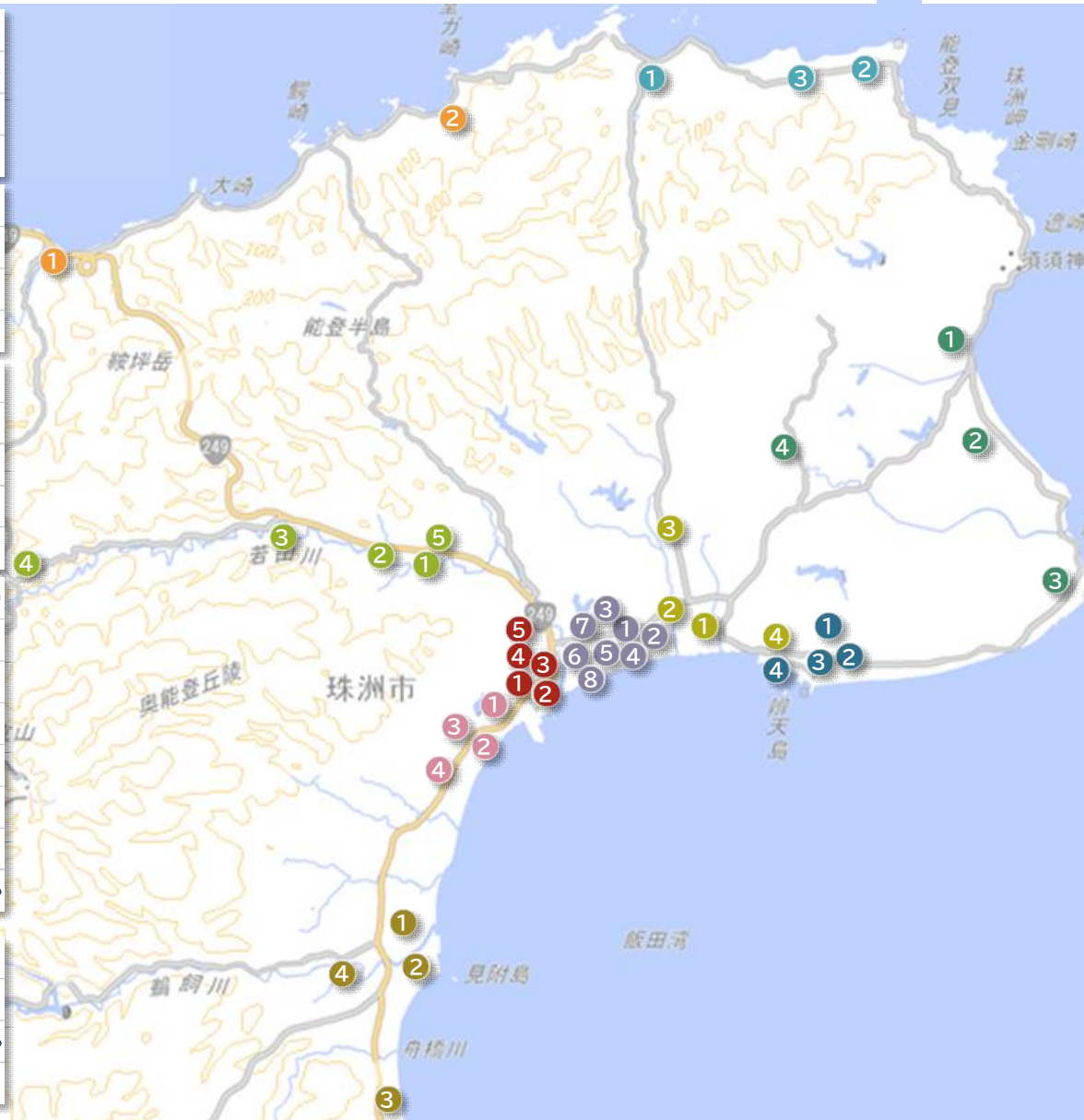
地区名	団地数	建設タイプ	建設戸数	
蛸島	5	プレハブ	298	458
	1	トレーラー	160	
三崎	3	プレハブ	130	142
	1	木造	12	
若山	2	プレハブ	95	151
	3	木造	56	
日置	1	プレハブ	1	62
	2	木造	45	
	1	トレーラー	16	
大谷	1	プレハブ	19	91
	1	木造	72	
計	46		計	1,740

2 被災状況

(資料編)

<建設型応急住宅位置図 (2025(令和7)年3月時点)>

宝立	集 1	宝立町第1団地 153戸	
	集 2	宝立町第2団地 135戸	木造
	3	宝立町第3団地 15戸	木造
	集 4	宝立町第4団地 43戸	
上戸	集 1	上戸町第1団地 33戸	
	集 2	上戸町第2団地 30戸	
	3	上戸町第3団地 9戸	木造
	4	上戸町第4団地 8戸	ルテ
飯田	集 1	飯田町第1団地 66戸	木造
	2	飯田町第2団地 17戸	
	3	飯田町第3団地 7戸	
	4	飯田町第4団地 19戸	
	5	飯田町第5団地 6戸	
直	1	野々江町第1団地 19戸	ルテ
	集 2	野々江町第2団地 26戸	
	3	野々江町第3団地 19戸	
	4	野々江町第4団地 6戸	
	5	野々江町第5団地 13戸	
	6	野々江町第6団地 12戸	ルテ
	7	野々江町第7団地 8戸	ルテ
	8	野々江町第8団地 22戸	木造
正院	集 1	正院町第1団地 76戸	ルテ
	2	正院町第2団地 48戸	
	3	正院町第3団地 19戸	木造
	集 4	正院町第4団地 27戸	



蛸島	集 1	蛸島町第1団地 117戸	
	集	蛸島町第2団地 42戸	
	集 2	蛸島町第3団地 48戸	
	集	蛸島町第4団地 51戸	
集 3	蛸島町第5団地 40戸		
	集 4	蛸島町第6団地 160戸	ルテ

三崎	集 1	三崎町第1団地 50戸	
	集 2	三崎町第2団地 60戸	
	3	三崎町第3団地 20戸	
	4	三崎町第4団地 12戸	木造

若山	集 1	若山町第1団地 61戸	
	2	若山町第2団地 4戸	木造
	集 3	若山町第3団地 29戸	木造
	4	若山町第4団地 23戸	木造
	5	若山町第5団地 34戸	

日置	集 1	折戸町第1団地 42戸	木造
	2	狼煙町第1団地 16戸	ルテ
	3	狼煙町第2団地 3戸	木造
(※松田牧場 1戸)			

大谷	集 1	大谷町第1団地 72戸	木造
	2	高屋町第1団地 19戸	

令和7年3月現在 地理院地図

(4)令和6年奥能登豪雨による被災状況

- ・令和6年9月、奥能登地方を中心とした記録的な豪雨により、河川の氾濫や土砂災害が発生した。
- ・この豪雨により、建設型応急仮設住宅22戸（2025（令和7）年3月時点）が整備されている。

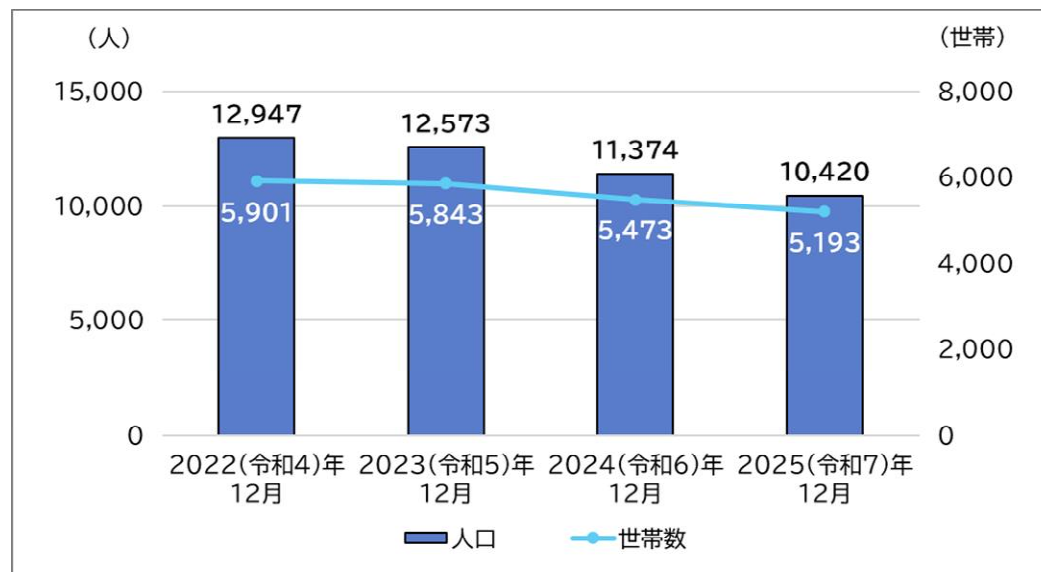
<令和6年奥能登豪雨による住家被害の状況（単位：棟）>

全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計
14	65	15	19	235	348

出典：石川県HP「被害等の状況について（第64報）」（2026（令和8）年1月30日）

(5)令和6年能登半島地震・奥能登豪雨での人口・世帯数の変化

- ・令和5年12月から令和7年12月にかけて、珠洲市の人口は2,153人、世帯数は650世帯減少している。



出典：住民基本台帳

(1) 珠洲市まちづくり総合指針（令和2年3月）

まちづくりのコンセプト

日本一幸せを感じられる珠洲市を目指して
安心して暮らせる活力ある珠洲市づくり

■移住・定住へつなげる方向性

幸福度の高いまちづくり

子ども、若者、子育て世代、働き盛り、高齢者の各世代が生きがいをもって活躍できる幸福度の高いまちが人を引き寄せる

交流人口、関係人口の増加

芸術祭を軸とする交流人口や、大学連携、能登SDGsラボによる関係人口の増加を移住・定住へとつなげる

地域経済の活性化

G I A H Sの基盤を活かしたSDGsへの取組を柱に地域経済の活性化を図り、自分らしく働きたい現役世代の移住を促す

■まちづくり指針（基本目標）

① だれもが生き
生きと暮らせる
まち

② ふるさとの未
来を育むまち

③ 人をひきつけ
る魅力あるまち

④ みんなが活躍
できる活力ある
まち

⑤ 幸せを感じら
れるまちの基盤
づくり

(2)第2期珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月）

2030年の珠洲市が目指す姿を達成するために、珠洲市まちづくり総合指針の各指針において、考える必要があるポイントを整理した上で、具体的な施策が定められています。

■指針ごとの考えるポイント

①だれもが生き 活きと暮らせる まち	医療・介護・福祉の充実 医療・介護・福祉環境の充実と 働く人材の確保	健康・生きがいづくり 健康寿命の延伸や 生涯学習による生きがいづくり	地域力の強化 公民館を核とした集落等の維持や 地域文化の継承
②ふるさとの 未来を育むまち	出生・育児環境の整備 産婦人科医の確保や 子どもセンターの活用	市外からの児童・生徒の 受け入れ拡大 高校を核としたリターン人材の 育成と全国からの生徒募集	ふるさと愛の醸成 小中高における ふるさと学習の推進
③人をひきつけ る魅力あるまち	芸術祭による交流人口 芸術祭による交流人口から 関係・定住人口としての定着	課題解決型人材の育成 大学連携やマイスター事業 による人材の育成	SDGsを活かした ビジネス 能登SDGsラボの活用による 地域を活かしたビジネスの創生
④みんなが活躍 できる活力ある まち	農林水産業の承継 里山里海の保全や 後継者の育成、移住者の就業	新しいビジネスの創出 IT・アート・GIAHSを活かした 地域ビジネスの創生	多様な人材の活用 大学連携の活用、 市外企業との連携や移住者の活躍
⑤幸せを感じら れるまちの基盤 づくり	安心・安全のまちづくり インフラの維持管理と 災害時・緊急時対応の体制確保	最新技術を活かした 生活の基盤づくり 公共交通の見直しやITビジネス 等を支える通信環境の整備	財政の健全化 公共施設の管理の見直しや 企業版ふるさと納税の活用

(3)第2次珠洲市都市計画マスタープラン（平成29年3月）

都市づくりのテーマ

魅力と活力のある 安心して暮らせるまち

■都市づくりの3つの視点

視点1 集約（あつめる）

都市機能の集約により、コンパクトで住みやすい都市の形成を進めるとともに、市外からの観光をはじめとした集客に努めることで、魅力的でにぎわいあるまちづくりを推進。
魅力あるまちづくりの形成により、定住人口の確保を図り、本市の人口減少に一定の歯止めをかける。

視点2 保全（まもる）

自然環境や景観の保全とともに、都市施設をはじめとした既存ストックの適正管理や災害に強いまちづくりを進めることで、本市が有する資源や市民の財産や生命を守るまちづくりを推進。

視点3 活用（いかす）

豊かな自然や地域が育んだ文化などの本市が有する地域資源や、道路・公園・公共施設などの既存ストックを最大限に活用することで、地域の魅力向上や住みやすく暮らしやすいまちづくりを推進。

■都市づくりの方向性（目標）

持続可能な便利でコンパクトなまちづくり

人を守り続ける安全・安心なまちづくり

豊かな自然や伝統文化に抱かれた、人をひきつける魅力あるまちづくり

豊かで美しい自然と共生するまちづくり

珠洲オリジナルの魅力を活かした訪れたくなるまちづくり

市民との協働によるまちづくり

■将来都市構造の考え方

① 3つの拠点への都市機能の緩やかな誘導・集約

- ・住宅や商店、生活利便施設がまとまっている3拠点（宝立、飯田、正院・蛸島）を、まちなか拠点と位置づけ、少子高齢社会の進展や低成長時代の到来を踏まえ、既存ストックを活用した「小さな拠点」の形成による、まとまりのあるコンパクトなまちづくりを行います。都市計画区域内への都市機能の集積とともに、都市計画区域内においては、3つの拠点への緩やかな誘導により、まとまりのあるコンパクトな都市の形成を推進する。

② 3つの拠点を中心とした都市機能の充実

- ・3つの市街地拠点においては、市民への行政・医療福祉サービスの充実や、市民や来訪者のスポーツ・レクリエーション活動に供する機能の充実により、住みやすく、魅力的かつ快適なまちづくりを目指す。

③ 地域間連携の強化と3つの拠点間の連携

- ・広域交通ネットワークの充実、市内の拠点間を結ぶネットワークの強化・充実を図る。

■将来の都市構造

● まちなか拠点

住宅や商店、生活利便施設がまとまっている3拠点
(宝立、飯田、正院・蛸島)

● 交流レクリエーション拠点

観光や交流、レクリエーションの拠点となる3拠点
(鉢ヶ崎総合公園、野々江総合公園、見付公園)

市街地地区

商店や公共施設が集積している地区

居住地区

市街地の周辺において、海沿いの幹線道路に沿って集落が形成されている地区

産業振興地区

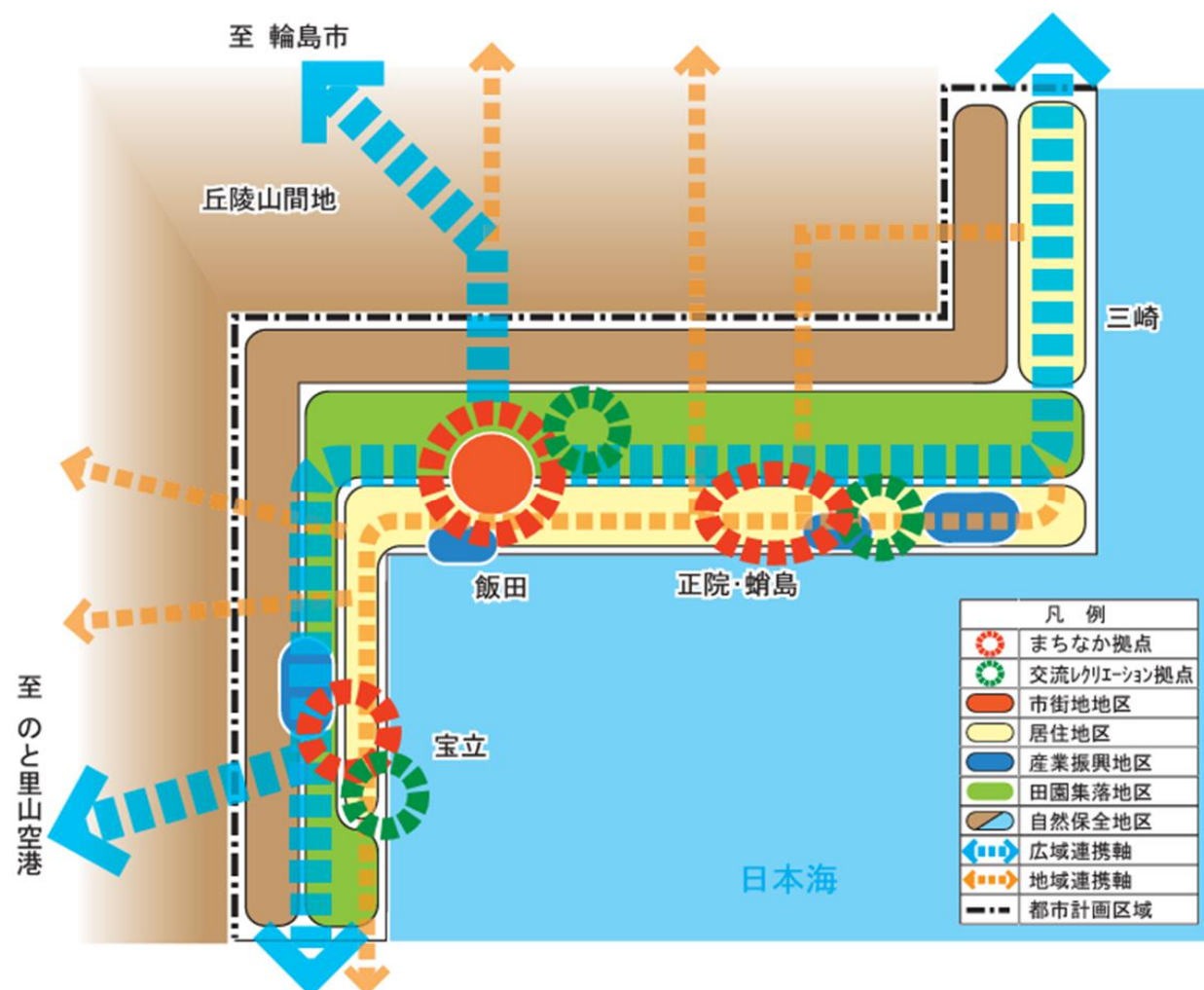
幹線道路の沿道において、比較的大規模の大きい工場がまとまって立地している地区

田園集落地区

市街地地区や居住地区の背後に広がる田畑・果樹園と、農地と共存している集落

自然保全地区

貴重な自然環境を有する海岸(国定公園)や丘陵山間地



⇄ 地域連携軸

(主) 大谷狼煙飯田線、(主) 折戸飯田線、(一) 高屋出田線など、市内の各地を連携する道路

⇄ 広域連携軸

珠洲道路、国道 249 号など、市内の各まちなか拠点を經由し、近隣市町と連携する広域的なネットワークとしての役割を担う道路

(4) 石川県創造的復興プラン（令和6年6月）

「創造的復興の実現に向けた羅針盤」として、県成長戦略に基づく施策の推進を県政運営の基本としつつ、地震からの復興に関する事項は、本プランに基づき推進していきます。

創造的復興のスローガン

能登が示す、ふるさとの未来Noto, the future of country

施策の4つの柱

- 1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり
- 2 能登の特色ある生業（なりわい）の再建
- 3 暮らしとコミュニティの再建
- 4 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

「創造的復興リーディングプロジェクト」のうち、住環境やまちづくりに係る主な内容は以下の通り

復興プロセスを活かした関係人口の拡大

二地域居住モデルの検討、被災古民家を活用した支援者宿泊施設等の整備支援 など

新たな視点に立ったインフラの強靱化

能登半島絶景海道の整備

自立・分散型エネルギーの活用などグリーンイノベーションの推進

持続可能な上下水道インフラの構築、住宅等における自立・分散型エネルギーの活用の推進 など

利用者目線に立った持続可能な地域公共交通

(5) 珠洲市復興計画（令和7年2月）

基本的な考え方

■ 基本理念（抜粋）

古から受け継がれてきた里山里海の営みの再生をベースに、アートや先駆的な技術を取り入れ、さらに次の世代に引き継ぐことのできる、より強靱で安全な新たな地域づくり、より生産性の高い生業（なりわい）づくりを目指します。

■ 復興への進め方（抜粋）

市民の皆様や関係の皆様とともに考え、議論し、誰一人取り残すことのない持続可能な復興に向けて連携して進めていきます。

本市の取り組みが、今後の我が国のあり方を指し示すこととなるよう、魅力ある最先端の復興を成し遂げます。

復興計画期間

「まちづくり総合指針」と連動した期間とし、計画期間を6年間（令和6年度から令和11年度まで）に設定し、短期的なものは2年間（令和6年度から令和7年度まで）で取り組みます。



基本方針

基本方針1 より強靱で安全な、災害に強い地域づくり

基本方針2 暮らしとコミュニティの再建

基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

基本方針4 自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生

基本方針5 DX の推進による「つながる社会」の実現

基本方針2 暮らしとコミュニティの再建

【住まい】コミュニティの維持を可能とする住宅の整備

住まいの再建として、仮設住宅の建設を早急に進めるとともに、長期の利用も可能な災害公営住宅の整備も進めます。仮設住宅、災害公営住宅の建設は 可能な限りコミュニティを維持できるように配慮します。

■「大施策2－1 暮らしと住まいの再建」における中施策

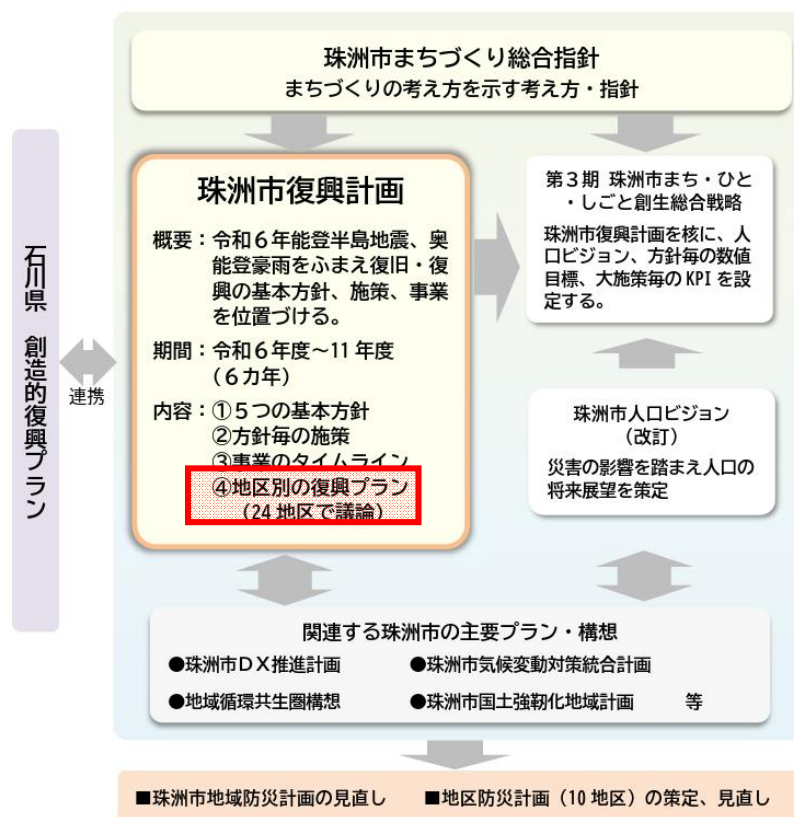
- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 仮設住宅の建設促進 | (6) より安全なまちづくり |
| (2) 災害公営住宅の整備 | (7) 液状化被害への対策 |
| (3) 10地区の復興プラン作成 | (8) 住宅の耐震化の促進 |
| (4) 住宅再建への支援 | (9) 地域コミュニティ施設の再建支援 |
| (5) 被災建物の公費解体の促進 | |

(6)地区別の復興プラン

珠洲市では、それぞれの地区において議論する「まちのかたち」が異なることから、市内10地区を24エリアに分けて、地区別の復興プランを作成し、これを復興計画の一部とする予定です。

基本的に、各地区の区長を通じて、区や集落単位でご意見を取りまとめ、可能な限り地区の復興プランに反映させていくこととしています。

今回の豪雨災害も踏まえ、災害公営住宅に係る整備候補地の選定や構造・種類の検討、防災機能を高める市道等の拡幅、津波防災対策など、今後の地区の姿について議論します。



■地区ごとのエリア分け

地区名	エリアの分け方
宝立	「柏原・小屋・馬渡」「南黒丸・宗玄」「鶺鴒・春日野」
上戸	「上戸」
飯田	「飯田」
若山	「上黒丸」「大坊」「東若山」「三郷」
直	「直」
正院	「岡田・飯塚・平床」「正院・小路・川尻」
蛸島	「蛸島」
三崎	「寺家」「栗津」「本」「小泊」
日置	「狼煙」「川浦・折戸」「東山中・唐笠」
大谷	「馬縹～笹波」「高屋」「大谷」「片岩～真浦」

住まいの意向調査の結果

（令和6年6・9月実施）

（1）調査概要

■調査の目的

珠洲市における令和6年能登半島地震からの住まいの復興に向けて、被災世帯の住宅再建に関する意向（場所・手法）や再建に向けた課題、災害公営住宅整備に係る意向等を把握することを目的とする。

なお、本調査は2024（令和6）年6月と2024（令和6）年9月の2回に分けて実施した。

■調査期間

第1回：2024（令和6）年6月6日～6月20日

第2回：2024（令和6）年9月23日～10月8日

■調査対象世帯・配布数

- ・建設型応急仮設住宅入居世帯 1,121世帯（第1回：777世帯、第2回：344世帯）
- ・みなし仮設住宅等の入居世帯 1,021世帯
（賃貸型応急住宅：888世帯、県内公営住宅：60世帯、県外公営住宅：67世帯、自主避難：6世帯）
- ・避難所避難世帯161世帯（1次：119世帯、2次：42世帯）

計2,303世帯

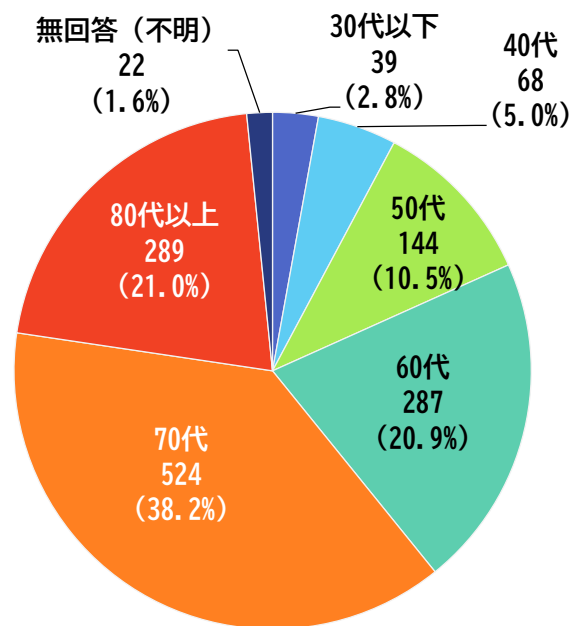
■回収数（回収率）

1,373票（59.6％）

（2）調査結果概要

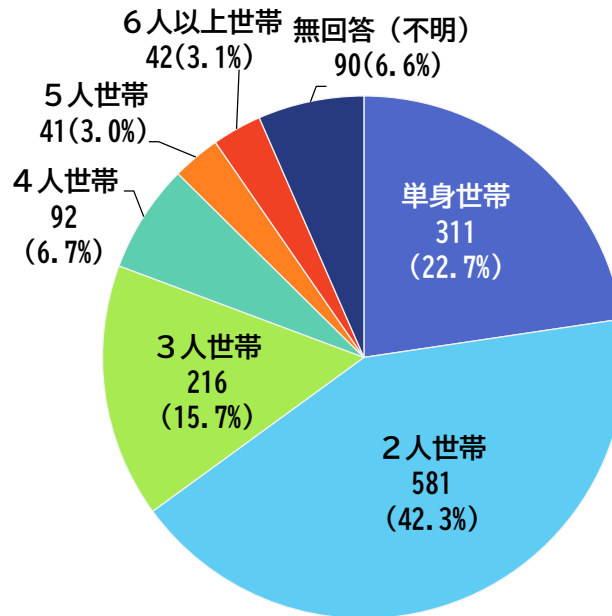
①回答者の属性

<世帯主の年齢（n=1,373）>



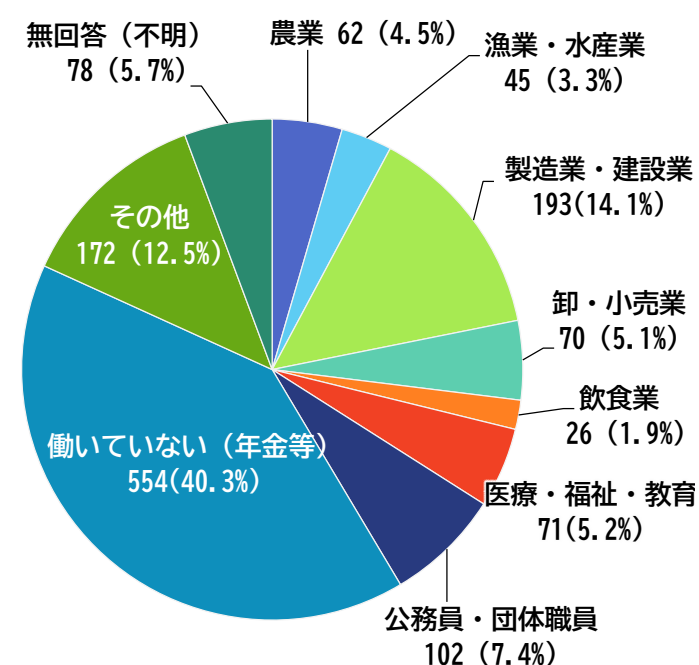
「70代」が38.2%と最も多く、次いで「80代以上」が21.0%、「60代」が20.9%である

<現在の家族人数（n=1,373）>



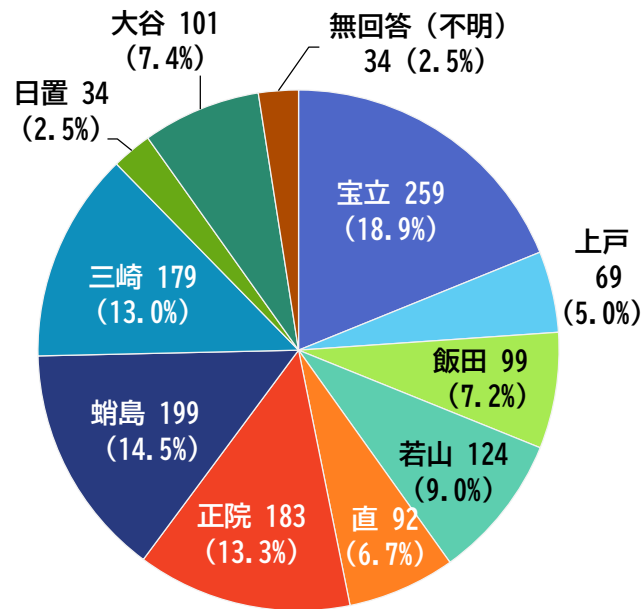
「2人世帯」が42.3%と最も多く、次いで「単身世帯」が22.7%、「3人世帯」が15.7%である

<家計を主に支える方の業種（n=1,373）>



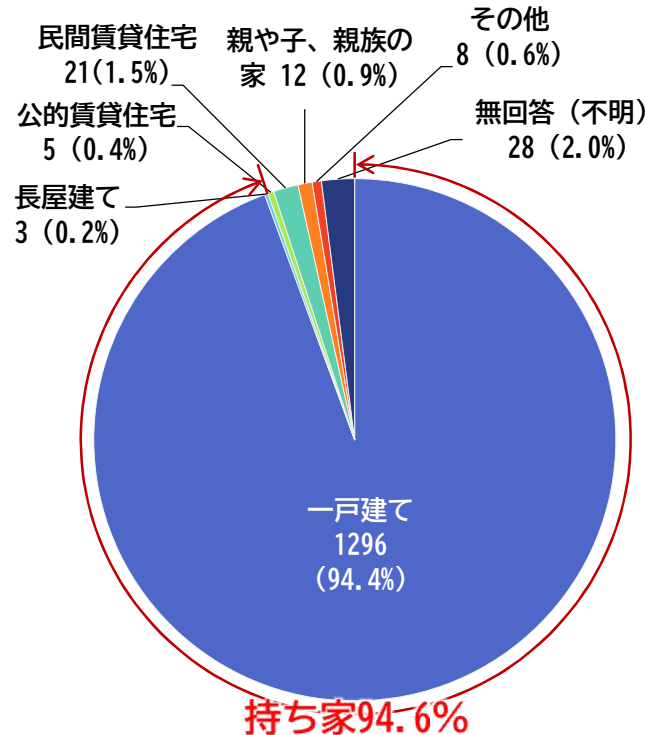
「働いていない（年金等）」が40.3%と最も多く、次いで「製造業・建設業」が14.1%、「その他」が12.5%である。

②回答者の住まい

<被災した住宅がある地区
(n=1,373)>

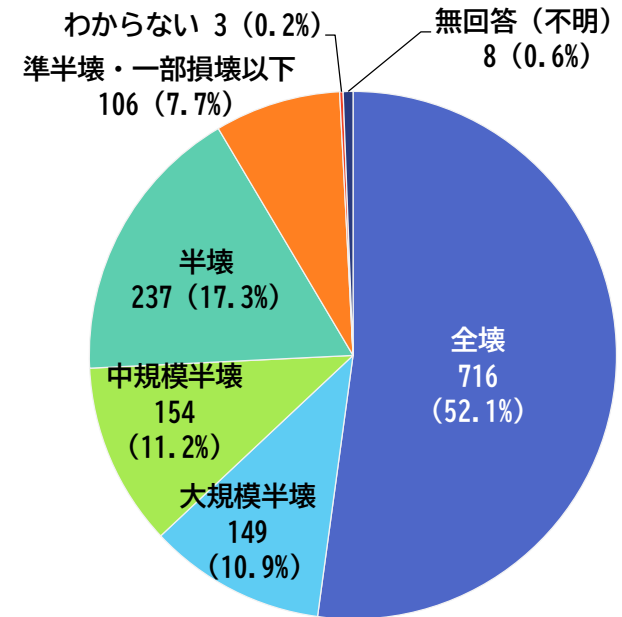
「宝立」が18.9%と最も多く、
次いで「蛸島」が14.5%、
「正院」が13.3%である

<被災した住宅の種類 (n=1,373)>



「一戸建て（持ち家）」が
94.4%と9割以上を占め、
「長屋建て（持ち家）」と合
わせた持ち家率は94.6%

<住宅の被災状況 (n=1,373)>



「全壊」が52.1%と5割以上
を占める

③住宅再建等の予定・意向（まとめ）

a 市内で自力再建

自宅（持ち家）を補修・建替え・新築・購入など

561(40.9%)

b 市内で借家等

住んでいた借家や親族の家に戻る、
民間賃貸住宅への住替え、その他など

83(6.0%)

c 市内で災害公営住宅

新たに整備される災害公営住宅

161(11.7%)

d 市内で未定

住まいの再建方法をまだ決めてない、わからない

123(9.0%)

e 市外・県外

市外・県外へ移住

152(11.1%)

f 無回答（不明）

—

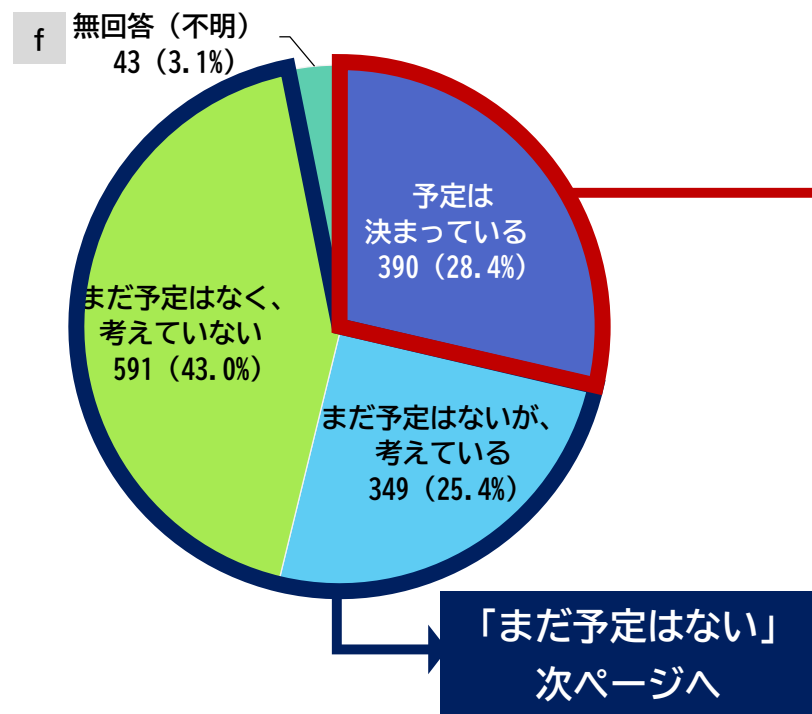
293(21.3%)

合計

1,373(100.0%)

③住宅再建等の予定・意向（各回答）

<住宅の再建・補修・確保の予定（n=1,373）>



「予定は決まっている」が
28.4%、「まだ予定はない」が
68.4%である。

住宅再建等について、
「予定は決まっている」と回答した世帯が対象

<住宅の再建方法（n=390）>

	件数	割合Ⅰ	割合Ⅱ
被災した住宅（持ち家）にそのまま住む	13	3.3%	0.9%
被災した住宅（持ち家）を補修	101	25.9%	7.4%
被災した宅地で住宅（持ち家）を建替え	158	40.5%	11.5%
被災した住宅とは別の住宅（持ち家）を 購入・取得	76	19.5%	5.5%
住んでいた借家（公的賃貸住宅、民間賃 貸住宅・社宅など）に戻る	4	1.0%	0.3%
新たに別の借家に入居	11	2.8%	0.8%
親や子、親族の家に同居	5	1.3%	0.4%
その他	20	5.1%	1.5%
f 無回答（不明）	2	0.5%	0.1%
合計	390	100.0%	28.4%

割合Ⅰ：合計値 390を100%とした時の割合

割合Ⅱ：回収数1,373を100%とした時の割合

* a～fの記号は、p.46のタイプに対応しています。

住宅再建等について、「まだ予定はない」と回答した世帯が対象

<今後の住まいの場所に関する意向（n=940）>

	件数	割合Ⅰ	割合Ⅱ
元と同じ場所（被災した場所）で住みたい	270	28.7%	19.7%
元の場所から変わっても、同じ町内・集落内で住みたい	114	12.1%	8.3%
集落は変わっても、同じ居住地区内で住みたい	54	5.7%	3.9%
居住地区は変わっても、珠洲市内で住みたい	72	7.7%	5.2%
珠洲市以外（県内）で住みたい	142	15.1%	10.3%
県外で住みたい	10	1.1%	0.7%
その他	13	1.4%	0.9%
わからない、まだ決めていない	234	24.9%	17.0%
無回答（不明）	31	3.3%	2.3%
合計	940	100.0%	68.5%

割合Ⅰ：合計値 940を100%とした時の割合

割合Ⅱ：回収数1,373を100%とした時の割合

元と同じ場所で住みたい世帯が対象

<元と同じ場所での住宅の再建方法（n=270）>

	件数	割合Ⅰ	割合Ⅱ
被災した住宅（持ち家）を補修して住み続けたい	65	24.1%	4.7%
被災した宅地で住宅（持ち家）を建替えたい	121	44.8%	8.8%
住んでいた借家（公的賃貸住宅、民間賃貸住宅・社宅など）に戻りたい	1	0.4%	0.1%
住んでいた親や子、親族の家に戻りたい	0	0.0%	0.0%
その他	13	4.8%	0.9%
わからない、まだ決めていない	54	20.0%	3.9%
無回答（不明）	16	5.9%	1.2%
合計	270	100.0%	19.7%

割合Ⅰ：合計値 270を100%とした時の割合

割合Ⅱ：回収数1,373を100%とした時の割合

* a～fの記号は、p.46のタイプに対応しています。

住宅再建等について、「まだ予定はない」と回答した世帯が対象

<今後の住まいの場所に関する意向（n=940）>

	件数	割合Ⅰ	割合Ⅱ
元と同じ場所（被災した場所）で住みたい	270	28.7%	19.7%
元の場所から変わっても、同じ町内・集落内で住みたい	114	12.1%	8.3%
集落は変わっても、同じ居住地区内で住みたい	54	5.7%	3.9%
居住地区は変わっても、珠洲市内で住みたい	72	7.7%	5.2%
珠洲市以外（県内）で住みたい	142	15.1%	10.3%
県外で住みたい	10	1.1%	0.7%
その他	13	1.4%	0.9%
わからない、まだ決めていない	234	24.9%	17.0%
無回答（不明）	31	3.3%	2.3%
合計	940	100.0%	68.5%

割合Ⅰ：合計値 940を100%とした時の割合

割合Ⅱ：回収数1,373を100%とした時の割合

市内での移転可能性がある世帯が対象

<移転先での住宅の再建方法（n=487）>

	件数	割合Ⅰ	割合Ⅱ
a 宅地を購入して住宅（持ち家）を建設したい	16	3.3%	1.2%
a 土地を借りて住宅（持ち家）を建設したい	1	0.2%	0.1%
既存の住宅や空き家を購入・取得したい	10	2.1%	0.7%
b 既存の公的賃貸住宅（市営住宅・県営住宅等）に住みたい	12	2.5%	0.9%
b 民間賃貸住宅や社宅などを借りて住みたい	7	1.4%	0.5%
親や子、親族等の家に同居したい	2	0.4%	0.1%
c 新たに災害公営住宅が整備されれば入居したい	161	33.1%	11.7%
b その他	8	1.6%	0.6%
d わからない、まだ決めていない	69	14.2%	5.0%
f 無回答（不明）	201	41.3%	14.6%
合計	487	100.0%	35.5%

割合Ⅰ：合計値 487を100%とした時の割合

割合Ⅱ：回収数1,373を100%とした時の割合

* a～fの記号は、p.46のタイプに対応しています。

住まいの意向調査の結果

（令和7年10月実施）

（1）調査概要

■調査の目的

被災者の住まいの再建意向や、「復興公営住宅」や木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」への入居意向を把握し、調査結果をもとに整備戸数や整備敷地を精査することを目的とする。

■調査期間

2025（令和7）年10月1日～10月22日

■調査対象世帯・実配布数

- ① 建設型応急仮設住宅入居世帯※ 1,632世帯
（令和5年奥能登地震による仮設住宅の入居世帯を含む）
- ② みなし仮設住宅等の入居世帯※ 606世帯
- ③ ①②以外で公費解体申請している方 490世帯
（①②以外の長期避難世帯を含む）

計2,728世帯

※ 準半壊以下の世帯も含む

■回収数

回収数：2,347 票（回収率：86.0%）

有効票数：2,347 票

4 住まいの意向調査結果概要（令和7年10月実施）

（資料編）

■被災時住所の24エリア※別回収状況

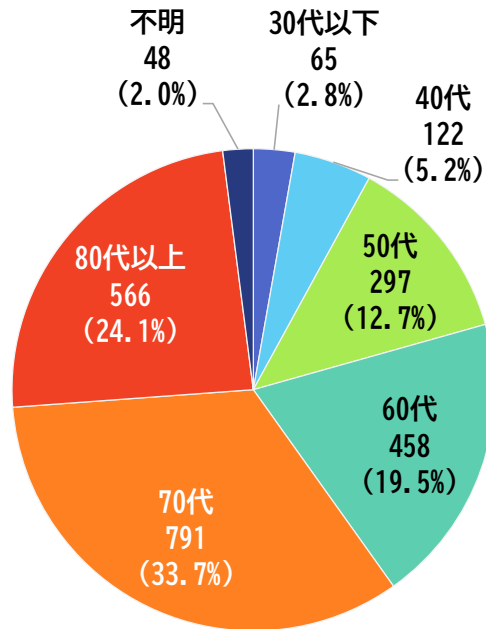
10地区	24エリア	合計		
		実配布数	回収数	回収率
宝立	柏原・小屋・馬渡	88	80	90.9%
	南黒丸・宗玄	141	122	86.5%
	鵜飼・春日野	305	244	80.0%
宝立計		534	446	83.5%
上戸	上戸	141	119	84.4%
上戸計		141	119	84.4%
飯田	飯田	206	172	83.5%
飯田計		206	172	83.5%
若山	上黒丸	50	46	92.0%
	大坊	14	12	85.7%
	東若山	108	93	86.1%
	三郷	89	80	89.9%
若山計		261	231	88.5%
直	直	165	141	85.5%
直計		165	141	85.5%
正院	岡田・飯塚・平床	62	54	87.1%
※市内10地区を24エリアに分けています。エリアの区分は復興に向けた「新たなまちのかたち」を議論する単位に基づきます。		336	287	85.4%

10地区	24エリア	合計		
		実配布数	回収数	回収率
蛸島	蛸島	344	304	88.4%
蛸島計		344	304	88.4%
三崎	寺家	62	53	85.5%
	栗津	19	16	84.2%
	本	186	165	88.7%
	小泊	94	85	90.4%
三崎計		361	319	88.4%
日置	狼煙	25	21	84.0%
	川浦・折戸	46	44	95.7%
	東山中・唐笠	6	6	100.0%
日置計		77	71	92.2%
大谷	馬縹～笹波	50	40	80.0%
	高屋	30	24	80.0%
	大谷	99	87	87.9%
	片岩～真浦	57	48	84.2%
大谷計		236	199	84.3%
市外		5	4	80.0%

(2) 調査結果の概要

1) 回答者の属性

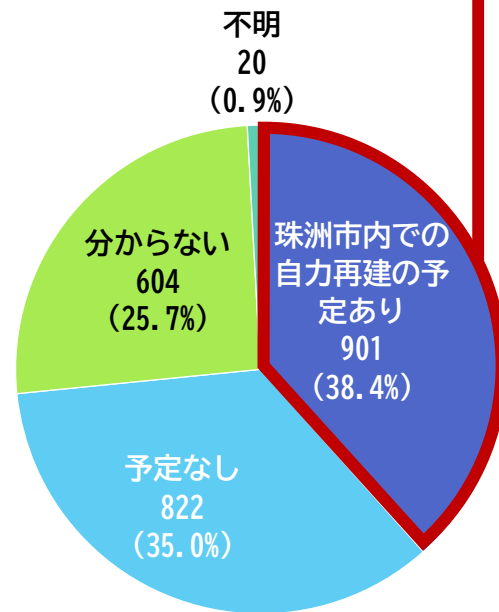
①世帯主の年齢（n=2,347）



「70代」が791世帯（33.7%）と最も多く、次いで「80代以上」が566世帯（24.1%）、「60代」が458世帯（19.5%）である

2) 自力再建の予定

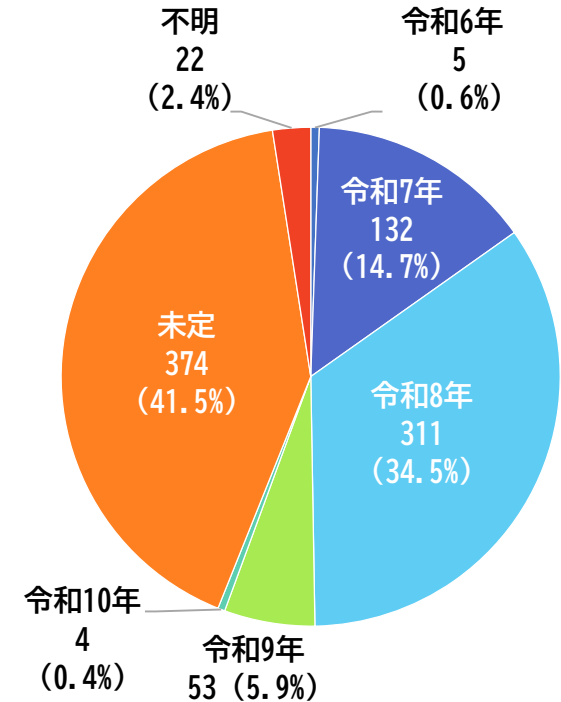
①自力再建の予定※（n=2,347）



「珠洲市内での自力再建の予定あり」と回答した世帯が901世帯（38.4%）と最も多く、次いで、「予定なし」が822世帯（35.0%）である

「珠洲市内での自力再建の予定あり」と回答した世帯が対象

②応急仮設住宅・みなし仮設住宅の退去予定時期（n=901）



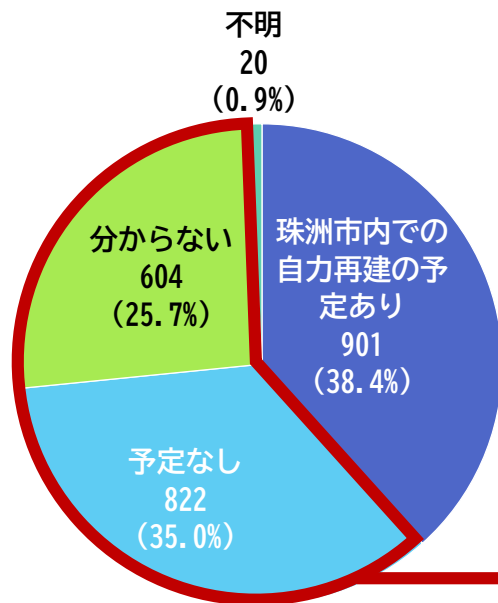
「未定」が374世帯（41.5%）と最も多く、次いで、「令和8年」が311世帯（34.5%）、「令和7年」が132世帯（14.7%）である

※2) ①自力再建の予定について、一部の方の回答は、以下の振り分けをしています。

- ・「珠洲市内での自力再建の予定あり」と「わからない」の両方を選択した場合：「わからない」としています。
- ・「珠洲市内での自力再建の予定なし」と「わからない」の両方を選択した場合：「珠洲市内での自力再建の予定なし」としています。

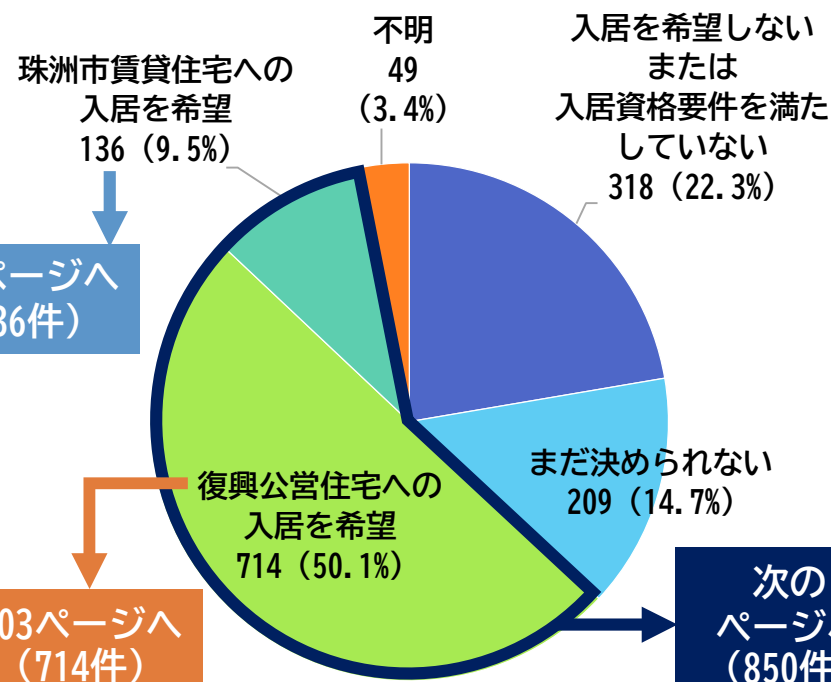
3）復興公営住宅・木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」への入居希望

自力再建の予定（n=2,347）【再掲】



- ※3）①復興公営住宅・珠洲市賃貸住宅への入居希望について、一部の方の回答は、以下の振り分けをしています。
- ・「入居を希望しない」と、「まだ決められない」「復興公営住宅を希望」「珠洲市賃貸住宅を希望」のいずれかを複数選択した場合
⇒「入居を希望しない」としています。
 - ・「復興公営住宅を希望」と「珠洲市賃貸住宅を希望」の両方を選択した場合
⇒「復興公営住宅を希望」としています。
 - ・「まだ決められない」と、「復興公営住宅を希望」または「珠洲市賃貸住宅を希望」の両方を選択した場合
⇒「復興公営住宅を希望」または「珠洲市賃貸住宅を希望」としています。
 - ・無回答だった場合
⇒「入居を希望する団地」に回答がある場合は、その内容から判断しています。

「自力再建の予定なし」・
「分からない」と回答した世帯が対象

①復興公営住宅・珠洲市賃貸住宅への入居希望※
(n=1,426)

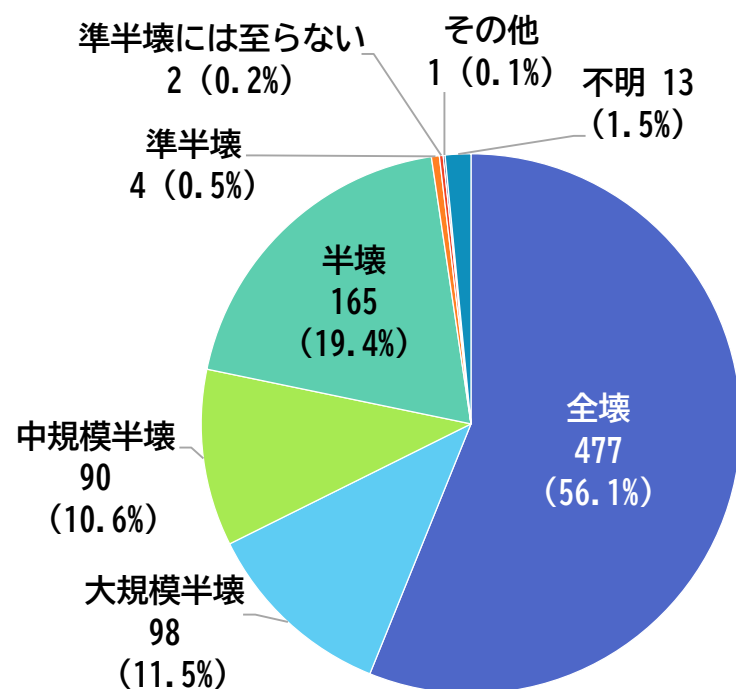
「復興公営住宅への入居を希望する」と回答した世帯が714世帯(50.1%)と最も多い

「珠洲市賃貸住宅への入居を希望する」と回答した世帯は136世帯(9.5%)である

3) ①で「復興公営住宅を希望」または「珠洲市賃貸住宅を希望」と回答した世帯が対象

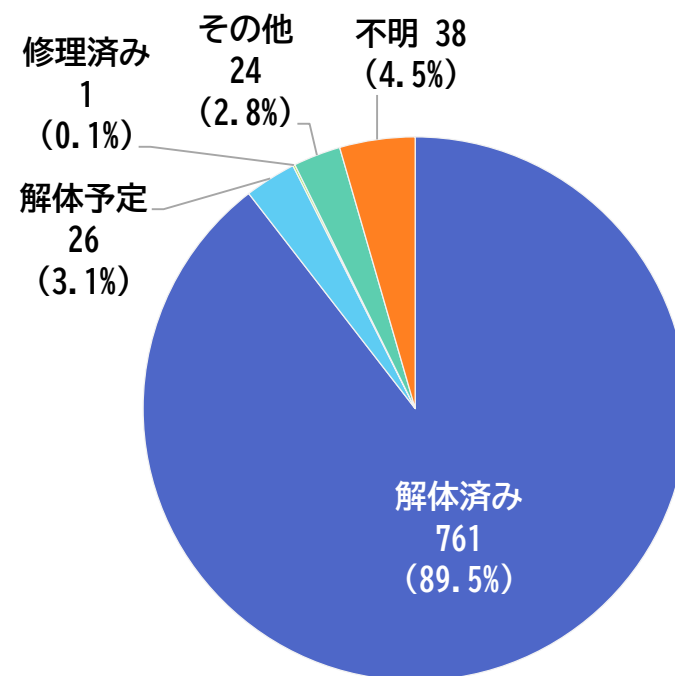
4) 復興公営住宅・木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」を希望する世帯の状況

①罹災状況（n=850）



「全壊」が477世帯(56.1%)と最も多く、次いで、半壊が165世帯(19.4%)、大規模半壊が98世帯(11.5%)である

②被災建物の状況（n=850）



「解体済み」が761世帯(89.5%)と最も多く、解体予定は26世帯(3.1%)である

3) ①で「復興公営住宅を希望」と回答した世帯が対象

5) 復興公営住宅への入居を希望する世帯の状況

①団地別の入居希望数※¹（n=714） 団地の整備予定敷地についてはp.110～123をご確認ください。

10地区	団地名	希望数		
		全体	うち 24エリア 内※ ²	うち 24エリア 外※ ²
宝立	宝立柏原	15	14	1
	宝立春日野	25	22	3
	宝立鶺鴒①	22	18	4
	宝立鶺鴒②	43	31	12
上戸	上戸北方	16	7	9
飯田	飯田吾妻町	41	24	17
	飯田鍛冶町	26	18	8
	飯田栄町	50	9	41
若山	若山火宮	21	14	7
直	野々江町西中町	24	14	10
	野々江町東中町	19	17	2
	熊谷町	6	6	0
正院	正院神明町	38	34	4
	正院飯塚	14	11	3
蛸島	蛸島東脇	28	27	1
三崎	三崎雲津	13	13	0
	三崎宇治	21	21	0
	三崎寺家①	7	6	1
	三崎寺家②	6	6	0
	三崎寺家③	6	6	0
日置	狼煙町	5	5	0
	折戸町	11	10	1
大谷	馬縹町	11	11	0
	高屋町	12	12	0
	大谷町	18	16	2
	清水町	4	4	0
10地区計		542	413	129
上記以外		162	-	-
珠洲市外		6	-	-
不明		4	-	-
合計		714	-	-

※1 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※2 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

次のページへ
(162件)

5) ①で「予定敷地以外の珠洲市内の復興公営住宅を希望する」と回答した世帯が対象

②「予定敷地以外の珠洲市内の復興公営住宅を希望する」と回答した世帯の希望地区※（n=162）

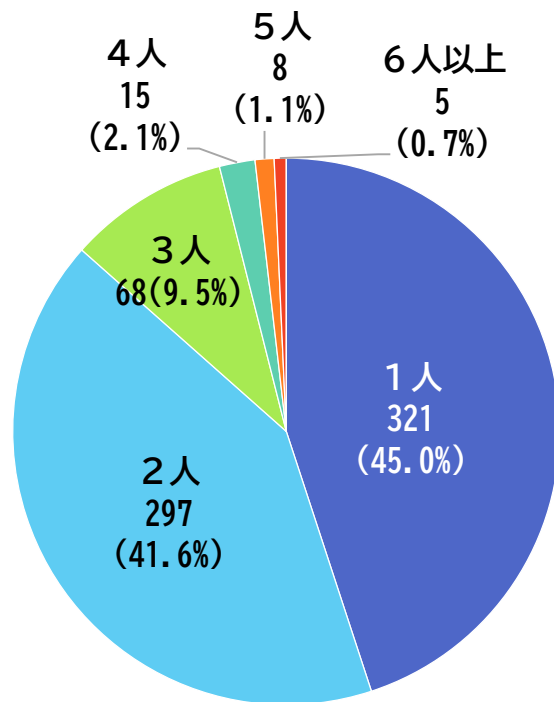
10地区	具体的な希望地区	回答数
宝立	南黒丸	9
	金峰寺	9
	上記以外の地区	12
宝立計		30
上戸	寺社	7
	上記以外の地区	4
上戸計		11
飯田	今町	5
	上記以外の地区	4
飯田計		9
若山	出田	6
	中田	4
	上記以外の地区	1
若山計		11
直	西中町②	4
	上記以外の地区	7
直計		11

10地区	具体的な希望地区	回答数
正院	小路	15
	大町	7
	川尻	6
	上記以外の地区	13
正院計		41
蛸島	島ノ地・新町	5
	新町	4
	上記以外の地区	15
蛸島計		24
三崎	引砂	4
	上記以外の地区	6
三崎計		10
日置	川浦	1
日置計		1
大谷	仁江町	8
	上記以外の地区	4
大谷計		12
その他		1
不明		1

※日置地区を除き、4件以上回答があった地区のみ具体的な地区名を掲載しています。

3) ①で「復興公営住宅を希望」と回答した世帯が対象

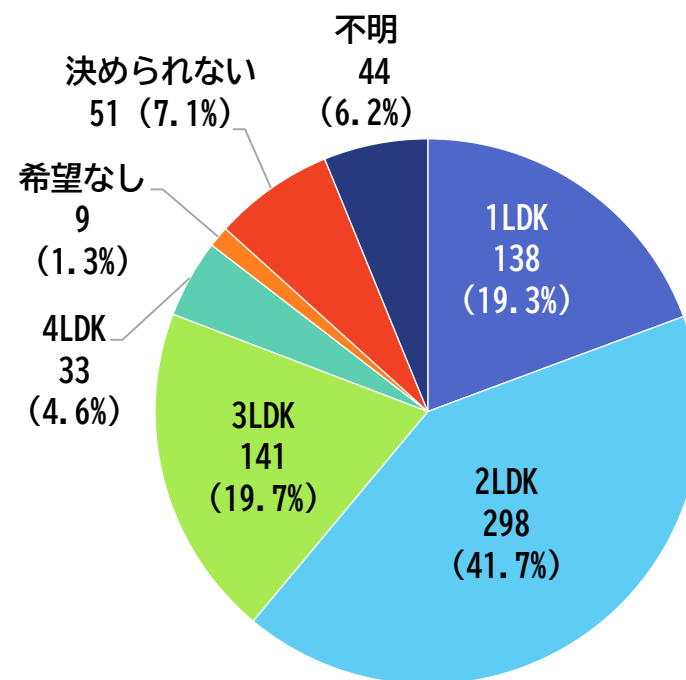
③世帯人員※（n=714）



「1人」が321世帯(45.0%)と最も多く、
次いで、「2人」が297世帯(41.6%)、
「3人」が68世帯(9.5%)である

※入居を考えている方の氏名・属性のリストから集計しています。
なお、アンケート回答者の氏名の記載がなかった場合は、世帯人員を1人追加しています。（自由記述等から世帯の状況が明らかな場合を除く）

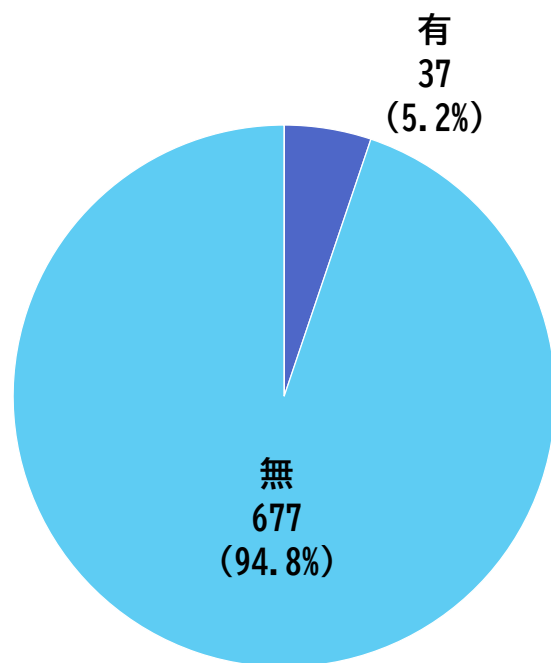
④希望する住戸の間取り・規模（n=714）



「2LDK」が298世帯(41.7%)で最も多く、
次いで「3LDK」が141世帯(19.7%)、
「1LDK」が138世帯(19.3%)である

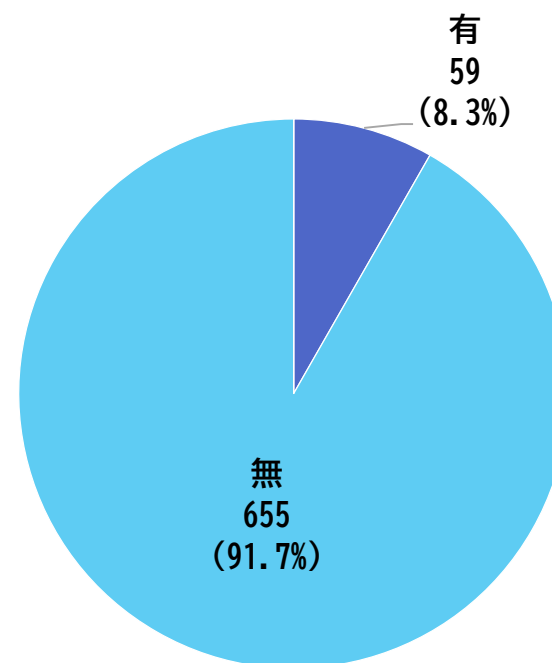
3) ①で「復興公営住宅を希望」と回答した世帯が対象

⑤車椅子使用者の有無（n=714）



「無」が677世帯（94.8%）、
「有」が37世帯（5.2%）である

⑥ペットの有無（n=714）



「無」が655世帯（91.7%）、
「有」が59世帯（8.3%）である

3) ①で「珠洲市賃貸住宅を希望」と回答した世帯が対象

6) 珠洲市賃貸住宅への入居を希望する世帯の状況

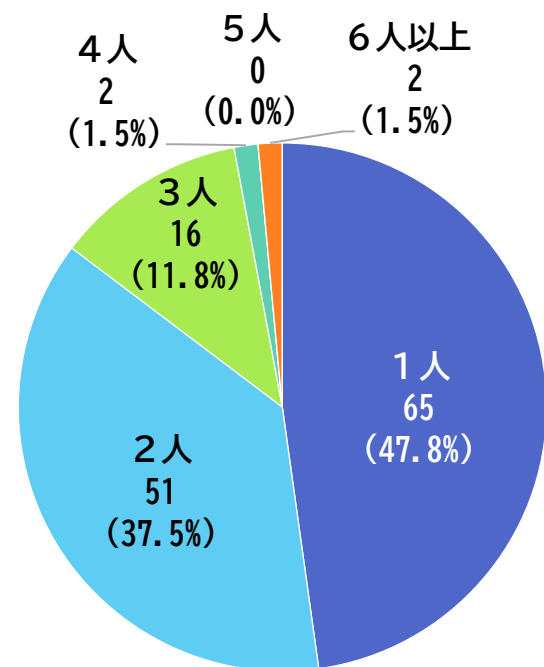
①団地別の入居希望数※¹（n=136）

団地の整備予定敷地についてはp.110～123をご確認ください。

10地区	団地名	希望数		
		全体	うち 24エリア 内※ ²	うち 24エリア 外※ ²
宝立	宝立町第2	55	14	41
	宝立町第3	11	8	3
若山	若山町第3	10	2	8
	若山町第4	17	17	0
三崎	三崎町第4	9	7	2
日置	折戸町第1	8	8	0
	狼煙町第2	2	2	0
正院	大谷町第1	22	13	9
小計		134	71	63
不明		2	-	-
合計		136	-	-

※¹ 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※² 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

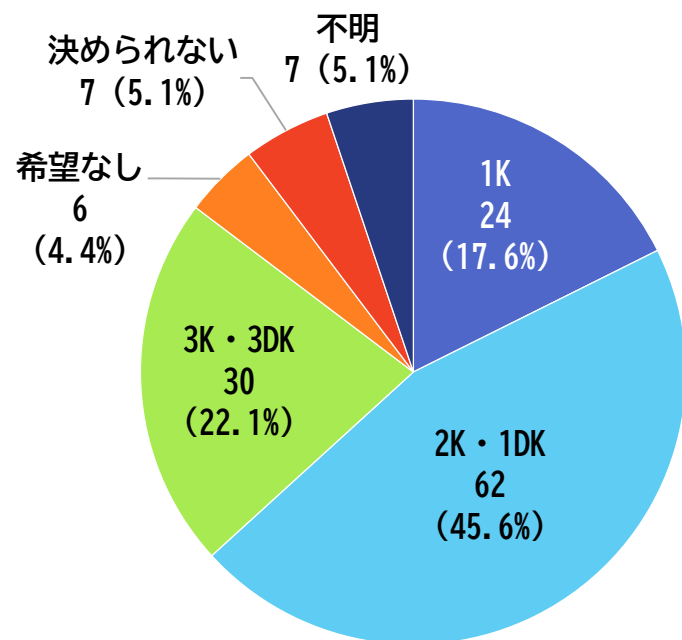
②世帯人員※³（n=136）

「1人」が65世帯(47.8%)と最も多く、次いで、「2人」が51世帯(37.5%)、「3人」が16世帯(11.8%)である

※³ 入居を考えている方の氏名・属性のリストから集計しています。
 なお、アンケート回答者の氏名の記載がなかった場合は、世帯人員を1人追加しています。（自由記述等から世帯の状況が明らかな場合を除く）

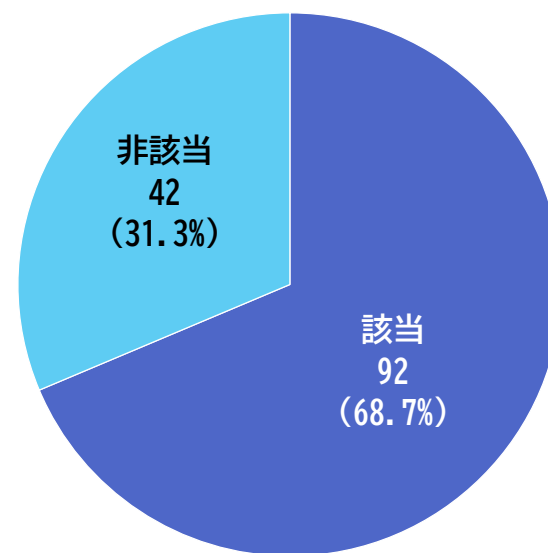
3) ①で「珠洲市賃貸住宅を希望」と回答した世帯が対象

③希望する住戸の間取り・規模（n=136）



「2K・2DK」が62世帯(45.6%)で最も多く、
次いで「3K・3DK」が30世帯(22.1%)、
「1K」が24世帯(17.6%)である

④継続入居※1（n=134※2）



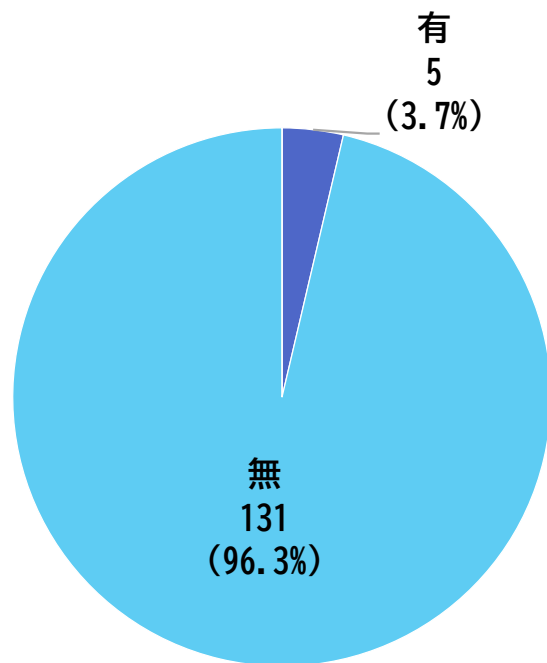
「該当」が92世帯(68.7%)、「非
該当」が42世帯(31.3%)である

※1 入居を希望する珠洲市賃貸住宅が、現在お住
まいの応急仮設住宅と同じ場合、継続入居とし
ています。

※2 希望する団地が不明の2件を除いています。

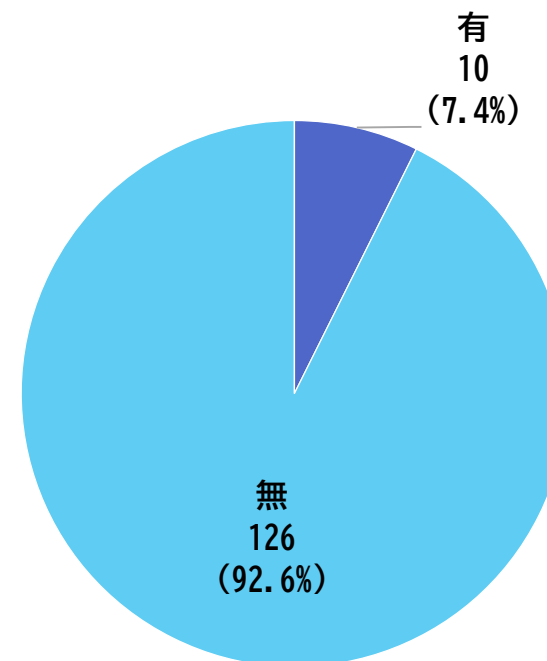
3) ①で「珠洲市賃貸住宅を希望」と回答した世帯が対象

⑤車椅子使用者の有無（n=136）



「無」が131世帯（96.3%）、
「有」が5世帯（3.7%）である

⑥ペットの有無（n=136）



「無」が126世帯（92.6%）、
「有」が10世帯（7.4%）である

参考：団地位置図

①宝立地区（その1）での予定敷地

凡例：	 「復興公営住宅」の予定敷地	 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
	 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」	



②宝立地区（その2）での予定敷地

凡例：
 「復興公営住宅」の予定敷地
 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



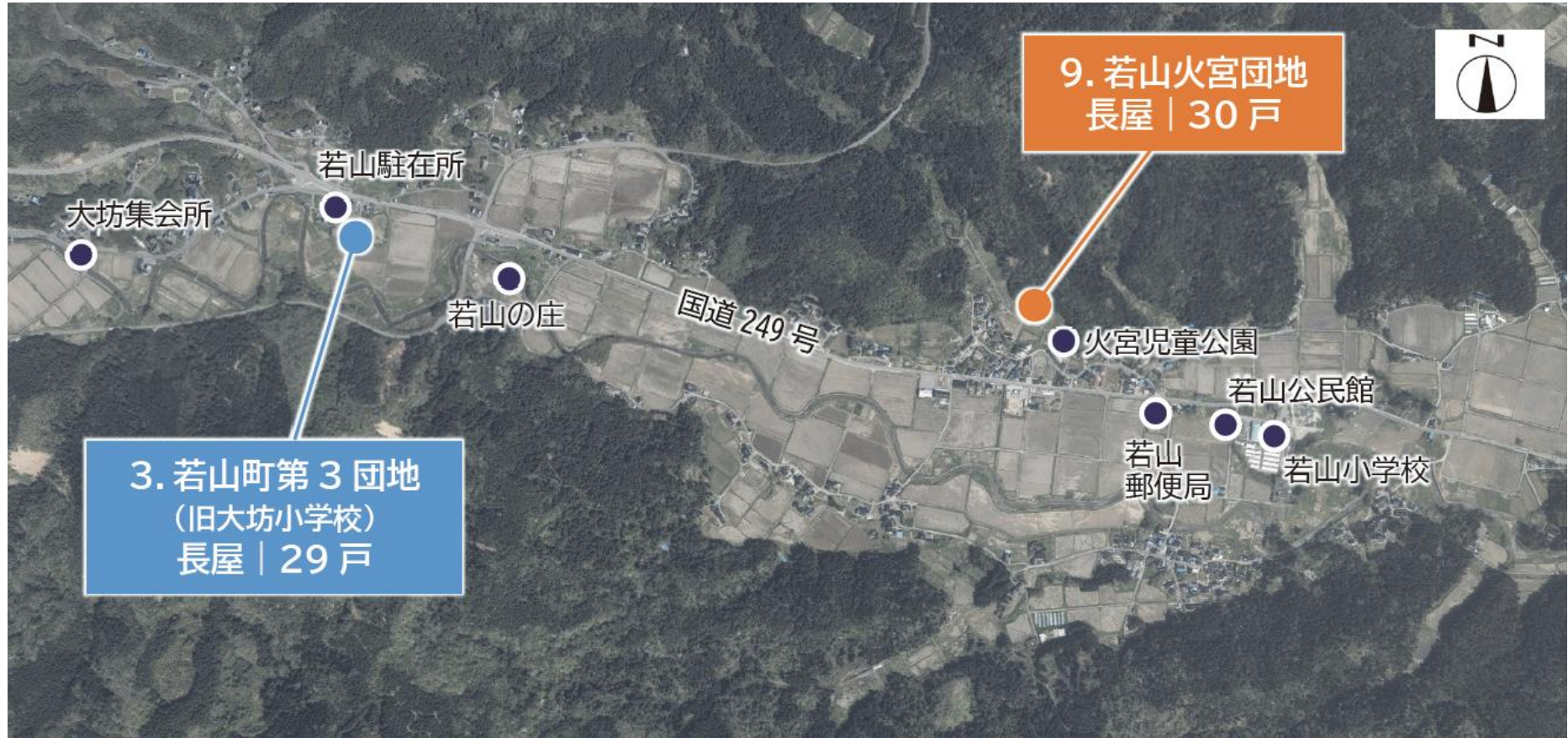
③上戸・飯田地区での予定敷地

凡例：
 「復興公営住宅」の予定敷地
 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



④若山地区（その1）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑤若山地区（その2）での予定敷地

凡例：



「復興公営住宅」の予定敷地



「復興公営住宅」の整備を検討している地区



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑥直・正院地区での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑦正院・三崎地区での予定敷地

凡例：



「復興公営住宅」の予定敷地



「復興公営住宅」の整備を検討している地区



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑧蛸島・三崎地区での予定敷地

凡例：



「復興公営住宅」の予定敷地



「復興公営住宅」の整備を検討している地区



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑨三崎地区（その1）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑩三崎地区（その2）での予定敷地

凡例：



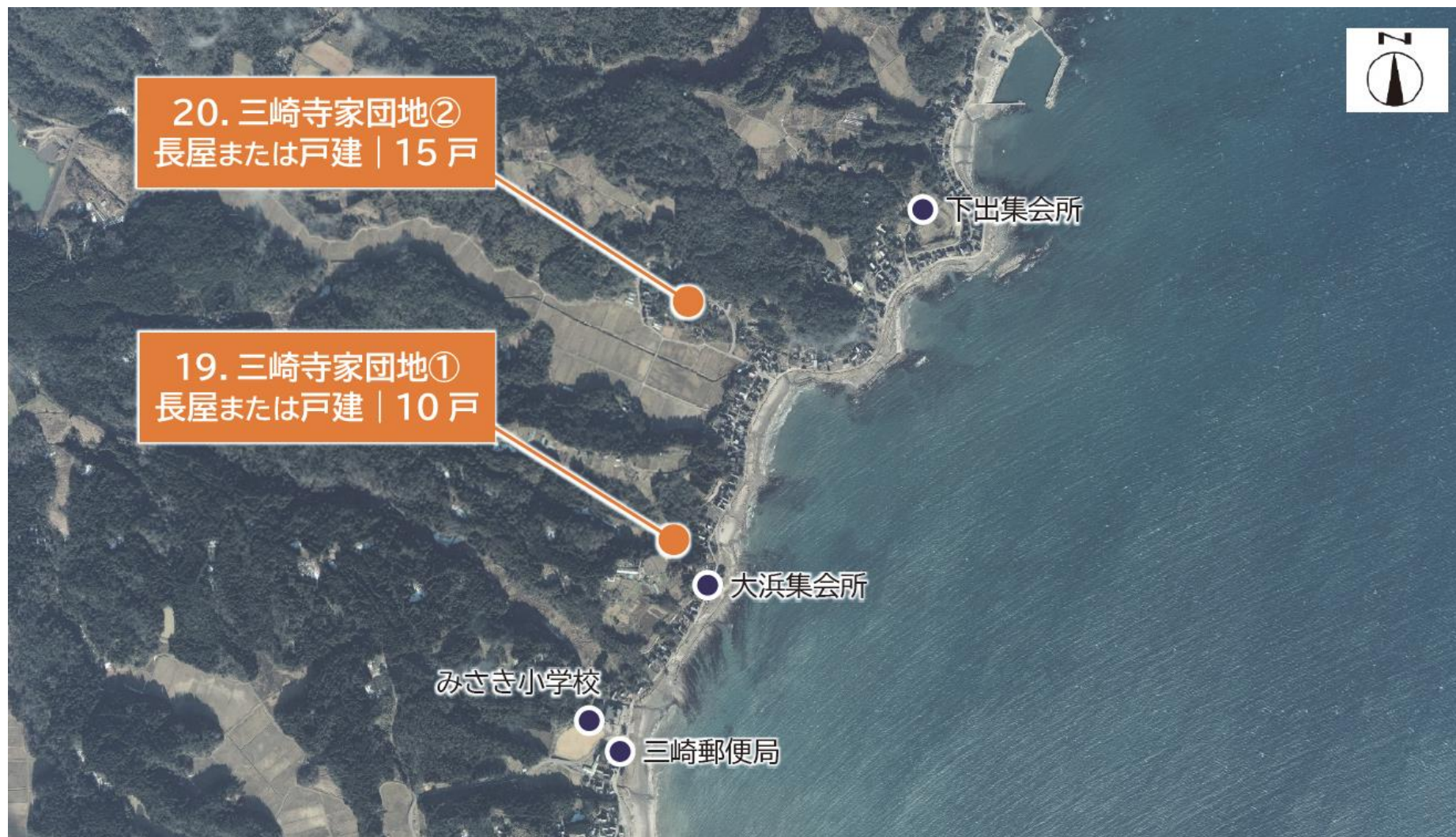
「復興公営住宅」の予定敷地



「復興公営住宅」の整備を検討している地区



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑪日置地区での予定敷地

凡例：



「復興公営住宅」の予定敷地



「復興公営住宅」の整備を検討している地区



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑫大谷地区（その1）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



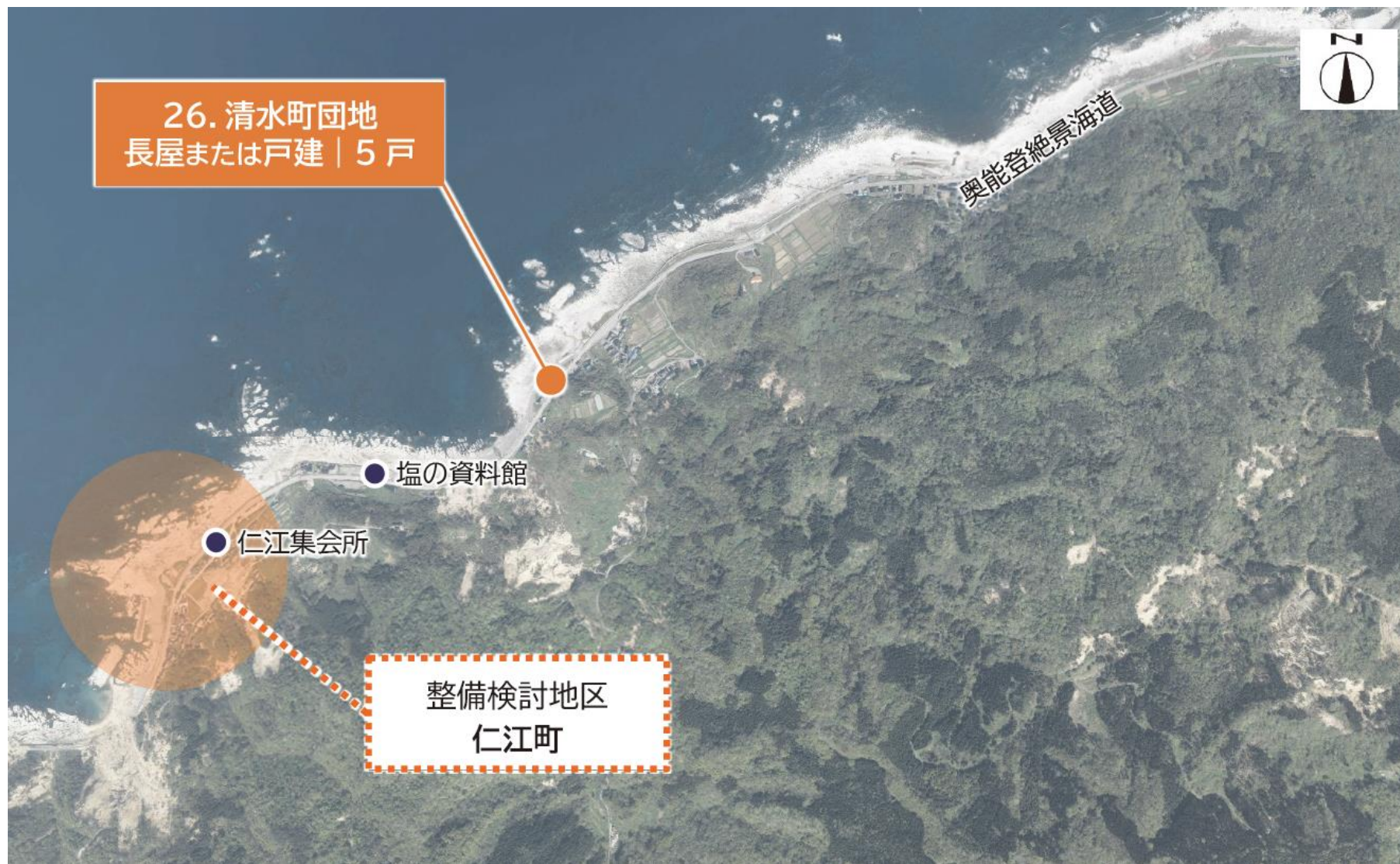
⑬大谷地区（その2）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑭大谷地区（その3）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地 「復興公営住宅」の整備を検討している地区
 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



住まいの意向調査の結果 （令和8年2月実施）

（1）調査概要

■調査の目的

令和7年10月実施の住まい意向調査（以下、「前回調査」）において、「復興公営住宅」や木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」の入居意向及び入居を希望する団地について調査した。前回調査の回答結果をふまえ、珠洲市ではその後、整備検討団地の追加や削除等の精査を行ったところである。

こうした状況をふまえ、本調査では、前回調査において復興公営住宅や珠洲市賃貸住宅の入居を希望する世帯等を対象に、改めて希望する団地について調査する。この結果を参考に、整備戸数及び整備検討団地の確定を行うことを予定する。

■調査期間

2026（令和8）年2月5日～2月19日

■回収数

配布数：1,059票

回収数：987票（回収率：93.2%）

有効票数：987票

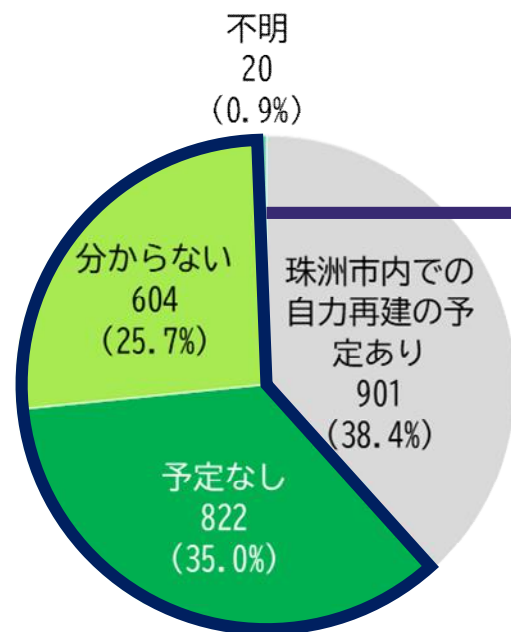
■調査対象世帯・実配布数

前回調査では、建設型応急仮設住宅入居世帯（1,632世帯）、みなし仮設住宅等入居世帯（606世帯）、その他で公費解体を申請している方（490世帯）を調査対象とした。

本調査では、そのうち自力再建の予定がなく、「復興公営住宅」への入居を希望する世帯（714世帯）や「珠洲市賃貸住宅」への入居を希望する世帯（136世帯）、入居希望がまだ決められない世帯（209世帯）を調査対象とした。

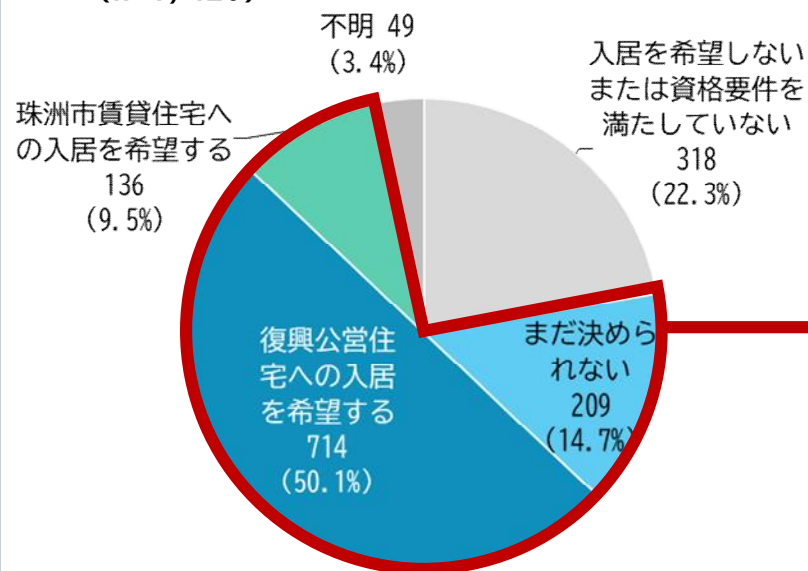
前回調査

2) 自力再建の予定（n=2,347）



「自力再建の予定なし」・ 「分からない」と回答した世帯が対象

①復興公営住宅・珠洲市賃貸住宅への入居希望 (n=1,426)



本調査の調査対象
(計1,059世帯)

■被災時住所の24エリア※別回収状況

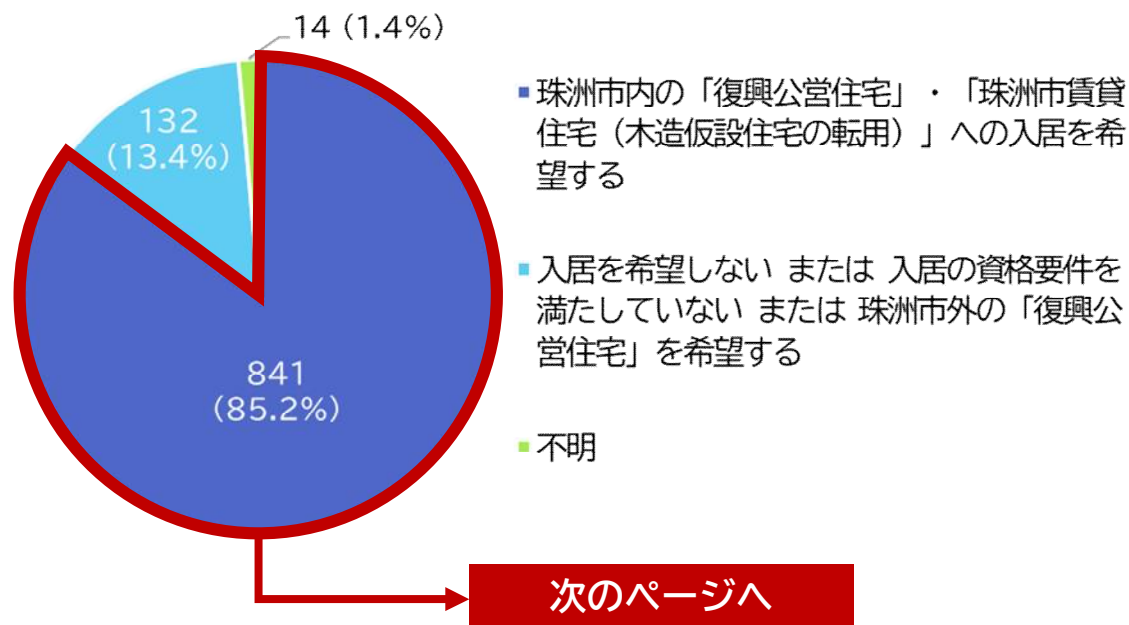
10地区	24エリア	合計		
		実配布数	回収数	回収率
宝立	柏原・小屋・馬渡	38	38	100.0%
	南黒丸・宗玄	58	54	93.1%
	鵜飼・春日野	136	127	93.4%
宝立計		232	219	94.4%
上戸	上戸	38	35	92.1%
上戸計		38	35	92.1%
飯田	飯田	83	70	84.3%
飯田計		83	70	84.3%
若山	上黒丸	30	29	96.7%
	大坊	6	6	100.0%
	東若山	44	36	81.8%
	三郷	29	28	96.6%
若山計		109	99	90.8%
直	直	62	59	95.2%
直計		62	59	95.2%
正院	岡田・飯塚・平床	22	22	100.0%
	正院・小路・川尻	122	109	89.3%

を24エリアに分けています。エリアの区分は復興に向けた「新

10地区	24エリア	合計		
		実配布数	回収数	回収率
蛸島	蛸島	137	134	97.8%
蛸島計		137	134	97.8%
三崎	寺家	18	15	83.3%
	栗津	5	5	100.0%
	本	64	59	92.2%
	小泊	26	24	92.3%
三崎計		113	103	91.2%
日置	狼煙	9	8	88.9%
	川浦・折戸	23	23	100.0%
	東山中・唐笠	1	1	100.0%
日置計		33	32	97.0%
大谷	馬縹～笹波	17	16	94.1%
	高屋	16	16	100.0%
	大谷	48	47	97.9%
	片岩～真浦	27	26	96.3%
大谷計		108	105	97.2%
合計		1,059	987	93.2%

(2) 調査結果の概要

1) 入居希望



「復興公営住宅」・「珠洲市賃貸住宅」への入居を希望する世帯は841世帯(85.2%)である。

2) 希望する団地と間取り

①希望する団地（1/4） 団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

復興公営住宅

※【追加】は前回調査から追加した団地。

10 地区	入居希望団地	第1希望			第2希望			第3希望		
			うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2
宝立	宝立町柏原団地	19	16	3	15	7	8	14	1	13
	宝立町春日野団地	23	19	4	16	14	2	19	15	4
	宝立町鶴飼団地	47	37	10	37	27	10	31	16	15
	宝立町南黒丸団地【追加】	18	17	1	10	9	1	4	2	2
	宝立町金峰寺団地【追加】	36	27	9	57	41	16	22	10	12
上戸	上戸町北方団地	8	2	6	15	6	9	12	6	6
	上戸町寺社団地【追加】	13	10	3	6	4	2	4	2	2
	上戸町南方団地【追加】	5	5	0	4	1	3	2	1	1
飯田	飯田町団地①(吾妻町)	35	21	14	16	1	15	18	5	13
	飯田町団地②(鍛冶町)	21	16	5	36	19	17	25	8	17
	飯田町団地③(栄町)	39	6	33	39	10	29	40	13	27
	飯田町団地④(今町)【追加】	14	10	4	15	13	2	30	15	15
若山	若山町火宮団地	7	5	2	17	12	5	4	1	3
	若山町中田団地【追加】	11	10	1	5	2	3	7	2	5
	若山町出田団地【追加】	12	9	3	5	4	1	18	1	17

※1 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※2 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

2) 希望する団地と間取り

①希望する団地（2/4） 団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

復興公営住宅

※【追加】は前回調査から追加した団地。

10 地区	入居希望団地	第1希望			第2希望			第3希望		
			うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2
直	野々江町団地①	14	13	1	40	20	20	25	13	12
	野々江町団地②	18	18	0	17	13	4	20	6	14
	野々江町団地③【追加】	65	12	53	67	10	57	64	22	42
	熊谷町団地	6	6	0	2	0	2	5	1	4
正院	正院町正院団地①(神明町)	15	15	0	15	13	2	24	22	2
	正院町正院団地②(大町)【追加】	33	33	0	27	23	4	12	8	4
	正院町正院団地③(東浜)【追加】	5	5	0	16	15	1	24	23	1
	正院町小路団地【追加】	19	15	4	15	10	5	6	5	1
	正院町飯塚団地	11	10	1	1	0	1	4	0	4
蛸島	蛸島町団地①(東脇)	22	20	2	18	18	0	17	14	3
	蛸島町団地②(貝蔵)	36	35	1	19	17	2	13	10	3
	蛸島町団地③(新町)【追加】	13	13	0	11	11	0	20	19	1
	蛸島町団地④(島之地)【追加】	17	17	0	21	21	0	16	15	1
	蛸島町団地⑤(栄町)【追加】	14	14	0	22	14	8	6	6	0

※1 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※2 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

2) 希望する団地と間取り

①希望する団地（3/4） 団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

復興公営住宅

※【追加】は前回調査から追加した団地。

10 地区	入居希望団地	第1希望			第2希望			第3希望		
			うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2
三崎	三崎町雲津団地	13	13	0	0	0	0	4	2	2
	三崎町宇治団地	16	15	1	5	4	1	3	0	3
	三崎町寺家団地①	6	6	0	4	3	1	0	0	0
	三崎町寺家団地②	4	4	0	6	6	0	0	0	0
	三崎町内方団地【追加】	2	2	0	1	1	0	1	1	0
	三崎町引砂団地【追加】	4	4	0	6	6	0	4	2	2
日置	狼煙町団地	5	5	0	1	0	1	0	0	0
	折戸町団地	11	10	1	4	3	1	0	0	0
大谷	馬縹町団地	10	10	0	8	1	7	3	0	3
	高屋町団地	13	13	0	3	0	3	6	0	6
	大谷町団地	34	26	8	7	0	7	9	0	9
	清水町団地	2	2	0	7	6	1	4	2	2
	仁江町団地【追加】	7	7	0	1	1	0	1	1	0
	真浦町団地【追加】	3	3	0	2	2	0	1	1	0
小計		726	556	170	639	388	251	542	271	271

※1 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※2 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

2) 希望する団地と間取り

①希望する団地（4/4） 団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

珠洲市賃貸住宅

※【追加】は前回調査から追加した団地。

10 地区	入居希望団地	第1希望			第2希望			第3希望		
			うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2		うち24エ リア内※1	うち24エ リア外※2
宝立	宝立町第2団地	50	11	39	26	11	15	33	5	28
	宝立町第3団地	7	7	0	14	2	12	7	4	3
若山	若山町第3団地	14	3	11	17	0	17	9	1	8
	若山町第4団地	19	19	0	4	1	3	0	0	0
三崎	三崎町第4団地	11	7	4	2	2	0	2	1	1
日置	折戸町第1団地	10	10	0	3	1	2	1	0	1
	狼煙町第2団地	2	2	0	0	0	0	0	0	0
小計		113	59	54	66	17	49	52	11	41
復興公営住宅+珠洲市賃貸住宅		839	615	224	705	405	300	594	282	312

※1 希望する団地を複数選択していた場合は、被災時のお住まいに近い団地で集計しています。

※2 被災時の住所が、団地の整備予定敷地が属する24エリア内の場合は“エリア内”、24エリア外の場合は“エリア外”としています。

その他

※1 2) ①希望する団地において、選択肢以外の回答があった世帯

※2 1) 入居希望において「復興公営住宅または珠洲市賃貸住宅に入居を希望する」と回答し、希望する団地が「無回答」の世帯

希望団地が「その他」※1	0			1			2		
第1～3希望すべて「無回答」※2	2			2			2		
第2・3希望が「無回答」※2	0			133			243		
合計	841			841			841		

2) 希望する団地と間取り

②希望する間取りー第1希望（1/4）

復興公営住宅

団地の整備予定敷地についてはp. 137～151をご確認ください。

10 地区	入居希望団地	計	希望する住戸の間取り・規模(面積)					
			1LDK (45㎡)	2LDK (55㎡)	3LDK (65㎡)	4LDK (75㎡)	特に希望 はない	不明
宝立	宝立町柏原団地	19	6	5	7	0	1	0
	宝立町春日野団地	23	2	13	7	1	0	0
	宝立町鵜飼団地	47	8	20	15	1	1	2
	宝立町南黒丸団地	18	4	12	2	0	0	0
	宝立町金峰寺団地	36	6	21	6	1	1	1
上戸	上戸町北方団地	8	2	3	1	0	0	2
	上戸町寺社団地	13	4	5	3	0	0	1
	上戸町南方団地	5	3	1	1	0	0	0
飯田	飯田町団地①(吾妻町)	35	7	21	4	3	0	0
	飯田町団地②(鍛冶町)	21	6	9	4	1	0	1
	飯田町団地③(栄町)	39	9	18	9	2	1	0
	飯田町団地④(今町)	14	3	8	1	1	0	1
若山	若山町火宮団地	7	1	3	2	0	0	1
	若山町中田団地	11	2	3	4	2	0	0
	若山町出田団地	12	4	5	2	1	0	0

2) 希望する団地と間取り

②希望する間取りー第1希望（2/4）

復興公営住宅

団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

10 地区	入居希望団地	計	希望する住戸の間取り・規模(面積)					
			1LDK (45㎡)	2LDK (55㎡)	3LDK (65㎡)	4LDK (75㎡)	特に希望 はない	不明
直	野々江町団地①	14	5	7	1	1	0	0
	野々江町団地②	18	3	9	3	0	0	3
	野々江町団地③	65	12	42	7	2	1	1
	熊谷町団地	6	3	1	1	1	0	0
正院	正院町正院団地①(神明町)	15	1	7	6	1	0	0
	正院町正院団地②(大町)	33	6	19	5	3	0	0
	正院町正院団地③(東浜)	5	1	2	1	0	1	0
	正院町小路団地	19	5	9	4	0	1	0
	正院町飯塚団地	11	1	2	7	0	1	0
蛸島	蛸島町団地①(東脇)	22	9	5	5	0	0	3
	蛸島町団地②(貝蔵)	36	4	10	17	2	0	3
	蛸島町団地③(新町)	13	3	5	3	2	0	0
	蛸島町団地④(島之地)	17	3	9	3	1	0	1
	蛸島町団地⑤(栄町)	14	3	6	2	2	0	1

2) 希望する団地と間取り

②希望する間取りー第1希望（3/4）

復興公営住宅

団地の整備予定敷地についてはp. 137～151をご確認ください。

10 地区	入居希望団地	計	希望する住戸の間取り・規模(面積)					
			1LDK (45㎡)	2LDK (55㎡)	3LDK (65㎡)	4LDK (75㎡)	特に希望 はない	不明
三崎	三崎町雲津団地	13	2	8	1	1	1	0
	三崎町宇治団地	16	5	7	3	0	0	1
	三崎町寺家団地①	6	2	4	0	0	0	0
	三崎町寺家団地②	4	0	4	0	0	0	0
	三崎町内方団地	2	1	0	0	0	1	0
	三崎町引砂団地	4	0	3	0	0	1	0
日置	狼煙町団地	5	0	5	0	0	0	0
	折戸町団地	11	2	6	3	0	0	0
大谷	馬縹町団地	10	0	5	1	2	1	1
	高屋町団地	13	2	7	3	0	0	1
	大谷町団地	34	6	22	2	1	0	3
	清水町団地	2	0	1	1	0	0	0
	仁江町団地	7	0	2	4	1	0	0
	真浦町団地	3	2	1	0	0	0	0
合計		726	148	355	151	33	12	27
		100%	20%	49%	21%	5%	2%	4%

2) 希望する団地と間取り

②希望する間取りー第1希望（4/4）

珠洲市賃貸住宅

団地の整備予定敷地についてはp.137～151をご確認ください。

10地区	入居希望団地	計	希望する住戸の間取り・規模(面積)				
			1K (20㎡)	2K・1DK (30㎡)	3K・3DK (40㎡)	特に希望は ない	不明
宝立	宝立町第2団地	50	12	14	21	1	2
	宝立町第3団地	7	1	4	1	0	1
若山	若山町第3団地	14	2	7	3	0	2
	若山町第4団地	19	2	10	4	1	2
三崎	三崎町第4団地	11	3	5	2	0	1
日置	折戸町第1団地	10	2	6	2	0	0
	狼煙町第2団地	2	1	0	0	0	1
合計		113	23	46	33	2	9
		100%	20%	41%	29%	2%	8%

参考：団地位置図

①宝立地区（その1）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



②宝立・上戸地区での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

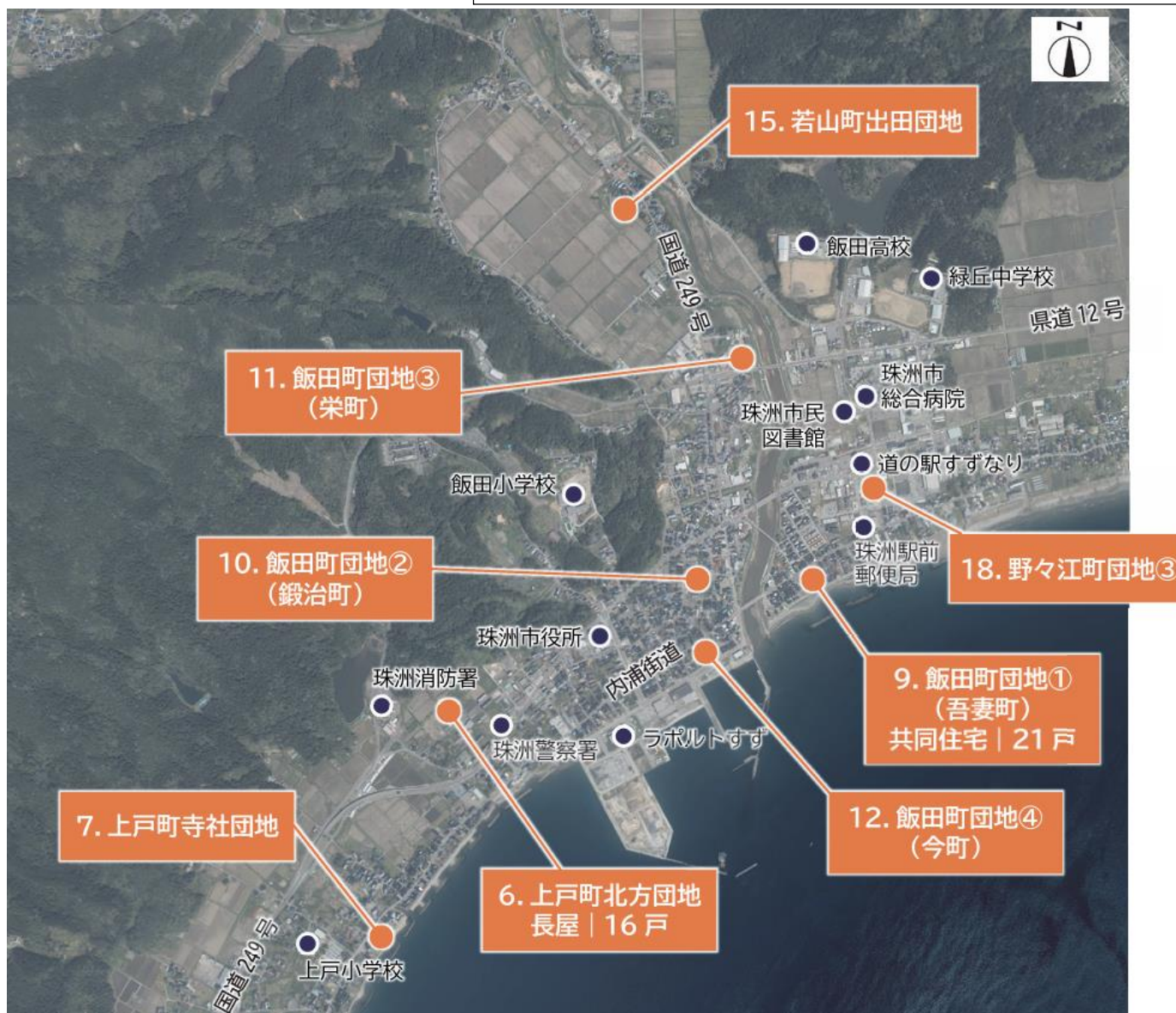
■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



③上戸・飯田・直・若山地区での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



④若山地区（その1）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑤若山地区（その2）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑥直・正院地区での予定敷地

凡例：



「復興公営住宅」の予定敷地



木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑦正院・三崎地区での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠州市賃貸住宅」



⑧蛸島・三崎地区での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑨三崎地区（その1）での予定敷地

凡例： 「復興公営住宅」の予定敷地

木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑩三崎地区（その2）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

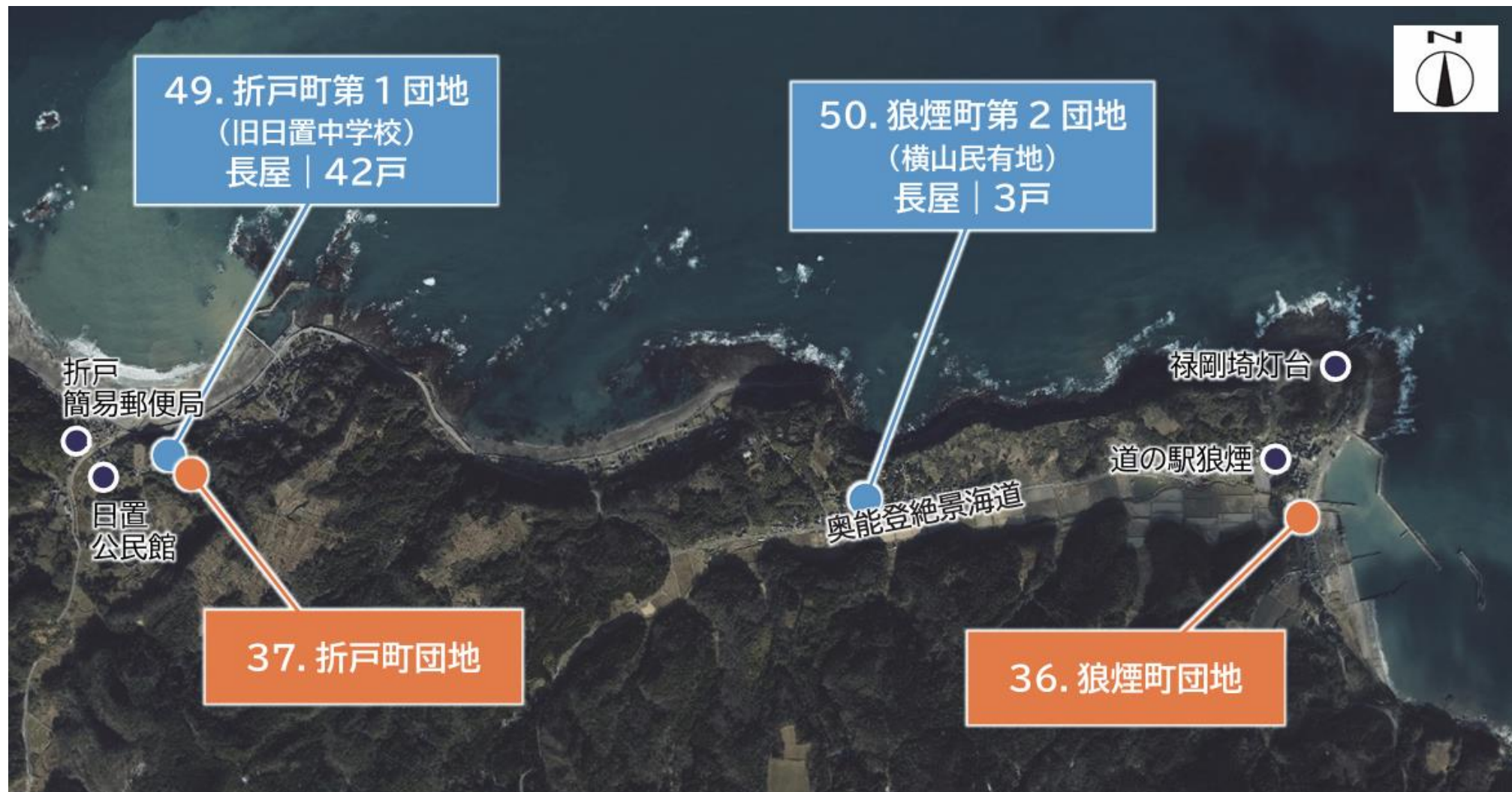
■ 木造仮設住宅を転用した「珠州市賃貸住宅」



⑪日置地区での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠州市賃貸住宅」



⑫大谷地区（その1）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠州市賃貸住宅」



⑬大谷地区（その2）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑭大谷地区（その3）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠洲市賃貸住宅」



⑮大谷地区（その4）での予定敷地

凡例： ■ 「復興公営住宅」の予定敷地

■ 木造仮設住宅を転用した「珠州市賃貸住宅」

